倉吉市文化財調査報告書　第９７集

鳥取大学附属図書館
郷土資料室

倉吉市内遺跡分布調査報告書Ⅹ

郷土資料
0.2
ur
97)

平成10年度

倉吉市教育委員会

序

この報告書は、平成９年度および10年度に、開発事業に伴う事前事業として実施した試掘・確認調査、および不入岡遺跡の保存を前提とした範囲確認調査の記録であります。

鳥取県の中央部に位置する倉吉市は、県内でも有数な埋蔵文化財の密集地です。倉吉市教育委員会では、こうした埋蔵文化財を守り、開発事業と文化財の共存を図るため、各関係機関と協議を重ね、さらには地元の方々のご理解とご協力を得ながら、文化財行政を進めているところです。

今回実施した調査は、トレンチやグリッドといった小面積の調査でしたが、遺跡の有無とそのひろがりや性格を把握するという所期の目的を果たし、保存対策を講ずることができました。発掘調査の内容としては不十分であり、満足すべきものではありませんが、埋蔵文化財行政の資料として活用願えれば幸いに存じます。

最後に、調査にご協力をいただきました市民の方々をはじめ、関係各位に対し、深く感謝の意を表するものであります。

平成11年３月

倉吉市教育委員会
教育長　足 羽 一 昭

<10>0100572445

例　　言

1　本報告書は、平成９年度及び10年度に倉吉市教育委員会が、国・県の補助を受けて実施した分布調査の記録である。分布調査は、トレンチ・グリッドによって遺跡の有無・範囲・性格を調査したものである。

2　発掘調査団は次のような組織・編成である。

団　　長　足羽　一昭（倉吉市教育委員会教育長）
調査委員　名越　　勉（倉吉市文化財保護審議会会長）
　　手嶋　義之（倉吉市文化財保護審議会委員　９年度）
調　査　員　根鈴　輝雄（倉吉博物館主任学芸員）眞田　廣幸（文化課課長補佐兼文化財係係長）
　　森下　哲哉（文化財係主任）　根鈴智津子（文化財係主事）
　　加藤　誠司（文化財係主事）　岡本　智則（文化財係主事）
　　岡平　拓也（文化財係主事）
調査補助員　山根　雅美・松田　恵子
事　務　局　故石田佐喜子（教育次長　９年９月まで）
　　新田　征男（教育次長　９年10月から10年６月まで）
　　波田野頌二郎（教育次長　10年７月から）
　　生田　淳美（文化課課長　９年度）　山脇　将暉（教育次長兼文化課課長　10年度）
　　藤井　敬子（文化財係主任　10年７月から）　福澤　昌子（文化財係主事）
　　山崎慎之介（文化財係主事　10年６月まで）　金田　朋子（臨時職員）
内務整理　泉　美智子・世浪由美子・妻藤　君江・松嶋あつ子・竹歳　暁子
　　山崎有香子（９年度）・山本　　錦（10年度）

3　地形図は、平成９年修正測量の１：2,500 国土基本図　倉吉市平面図を使用し、方位は国土座標第Ⅴ座標系で示した。

4　発掘資料は倉吉博物館で保管している。

目　　次

1　上神地区（上神宮ノ前遺跡）……1
2　国分寺地区（河原毛田遺跡）……2
3　尾田地区（尾田中峰遺跡）……3
4　虹ヶ丘町地区（奥小山８号墳）……5
5　和田地区（大平ラ遺跡・八幡山遺跡・若林遺跡・長谷遺跡）……6
6　大沢地区（高峰遺跡・矢内谷峰遺跡）……11
7　井手畑地区（上通遺跡）……12
8　大河内地区……13
9　下田中町地区（畑ヶ田遺跡）……13
10　西倉吉町地区（空岡田遺跡）……15
11　不入岡遺跡……16
12　鋤地区……17
13　国府地区……18
14　下福田地区……19
15　北野地区（八幡平ラ遺跡）……20

1　上神地区（上神宮ノ前遺跡）

調査地点　倉吉市上神字宮ノ前（みやのまえ）749-1・766-1

調査期間　平成９年４月16日～平成９年５月６日

調査契機　民間の宅地造成工事に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　384㎡

調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に７本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第１・３・６・７トレンチで幅約32ｍとやや狭い谷地形を確認した。この谷を埋める暗茶褐色土及び暗黒茶褐色土層から、多量の土師器・須恵器などとともに土製動物形・手捏土器・土製支脚・竈などの祭祀遺物が多く出土した。今回調査した地区の西隣には祭祀遺物が国の重要文化財に指定された谷畑遺跡があり、祭祀遺物の出土状況がよく類似している。また第５トレンチでは弥生時代後期の貯蔵穴を検出した。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模（m）	面積（㎡）	検出遺構	出土遺物
1	2×22.5	45		弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・甑・竈・把手 土製支脚・手捏土器・土製動物形・石英
2	2×25	50		土師器
3	2×25.5	51		弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・竈・把手 土製支脚・手捏土器・瓦質土器・陶器・鉄製品・砥石
4	2×38	76		土師器・須恵器・土師質土器・竈・手捏土器・窯具・砥石
5	2×20	40	貯蔵穴・土壙	弥生土器・土師器・陶器・窯具・磨石・炭化物
6	2×26	52		弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・甑・竈 手捏土器・陶器・鉄製品
7	2×35	70		弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・竈・把手・土製支脚 陶器・磁器

2　国分寺地区（河原毛田遺跡）

調査地点　倉吉市国分寺字河原毛田74-1・74-2

調査期間　平成９年５月７日～平成９年５月23日

調査契機　社コミュニティセンター建設に伴う予備調査

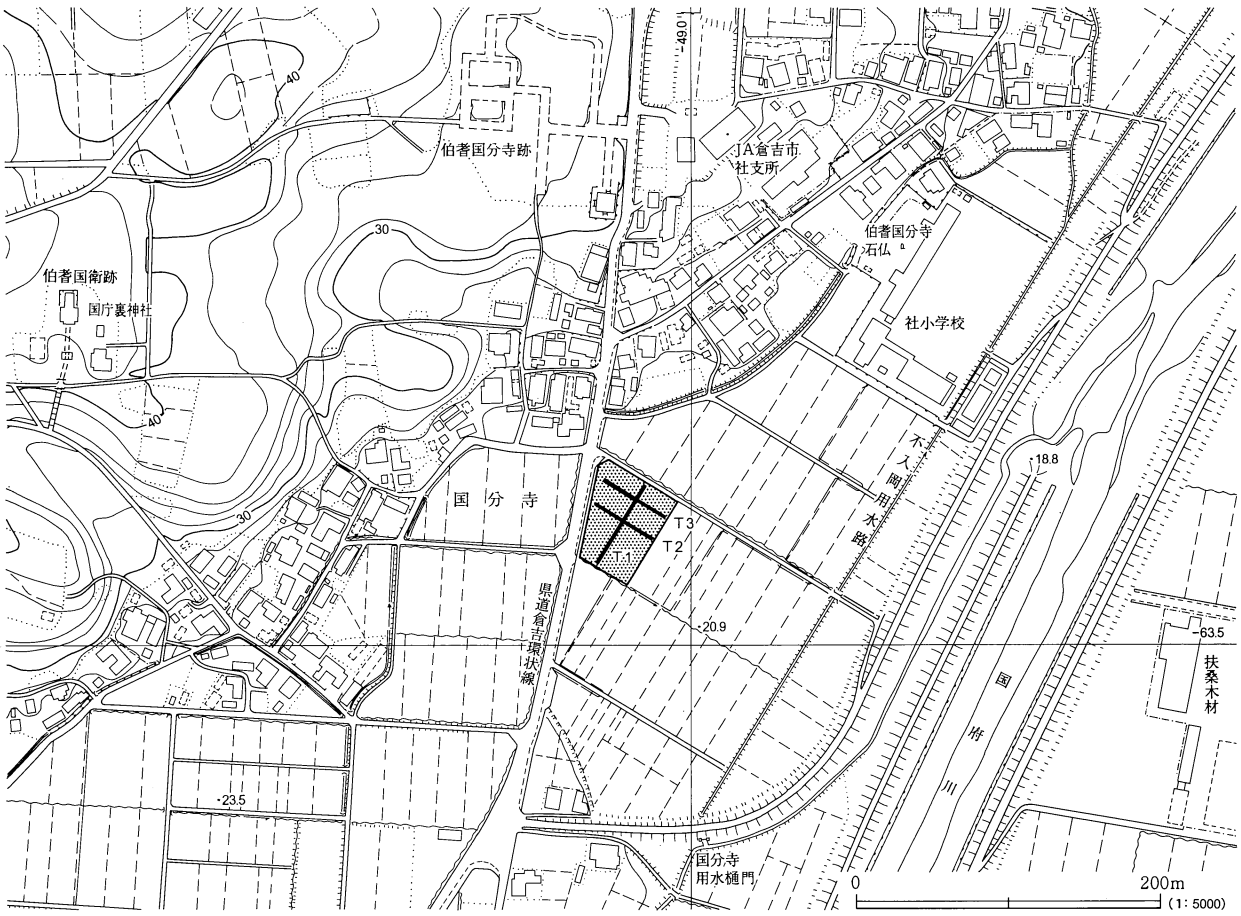
調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　324.5㎡

調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に３本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、東西方向に延びる溝を４条、北東から南西に延びる溝を１条検出した。第２トレンチの溝からは砂質土層を検出しており、水路の可能性が考えられる。遺物は各トレンチから奈良～平安時代の瓦や土器片が出土し、溝からはその量が多くなる。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×61.5	123	溝	土師器・須恵器・瓦
2	2×42.5	85	溝	土師器・須恵器・瓦・鉄製品
3	2×21.5 3×24.5	116.5	溝	土師器・須恵器・窯具・瓦・鉄製品・炭化物



3　尾田地区（尾田中峰遺跡）

調査地点　倉吉市尾田字中峰（なかみね）325-2・325-3

調査期間　平成９年５月26日～平成９年６月５日

調査契機　畜産基盤再編総合整備事業尾田団地造成工事に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

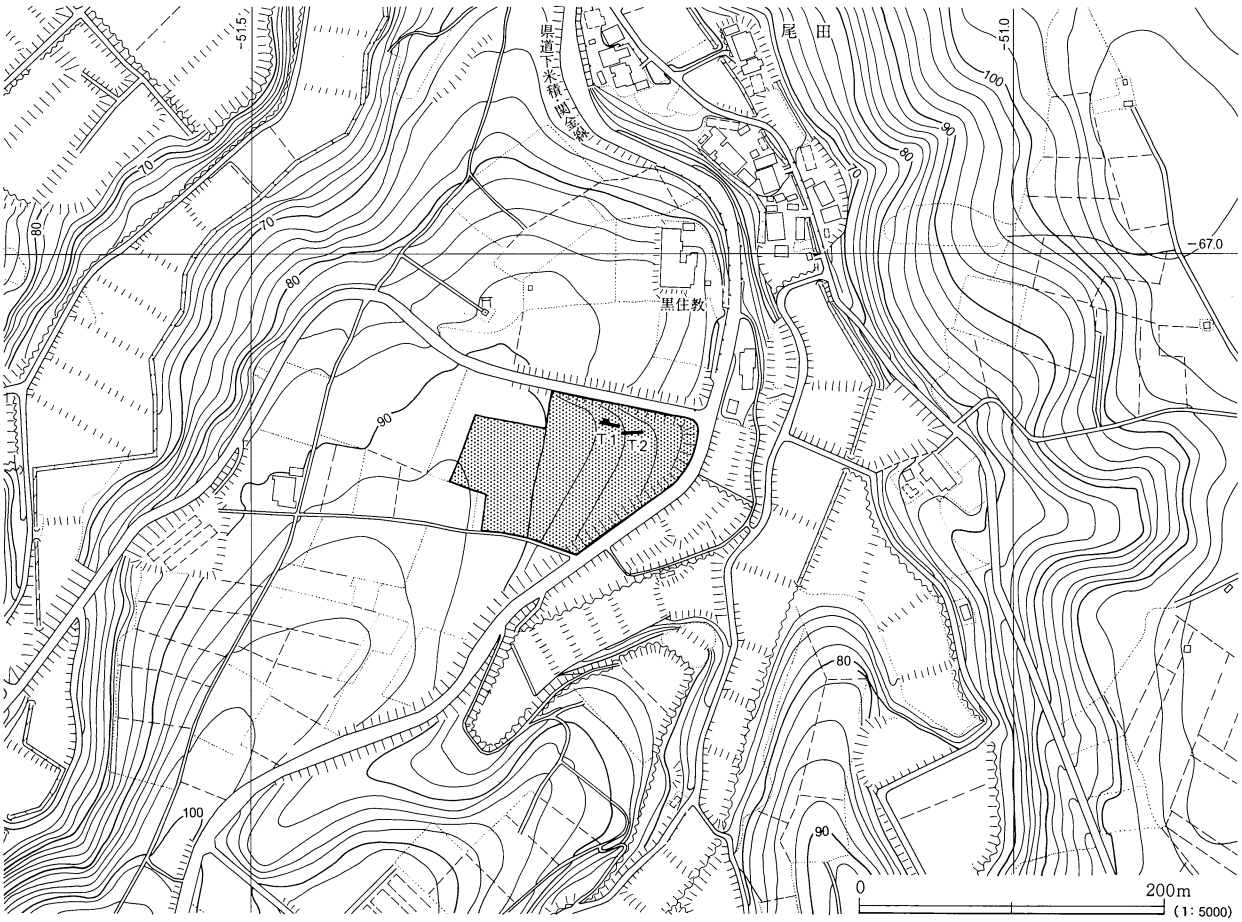
調査面積　64㎡

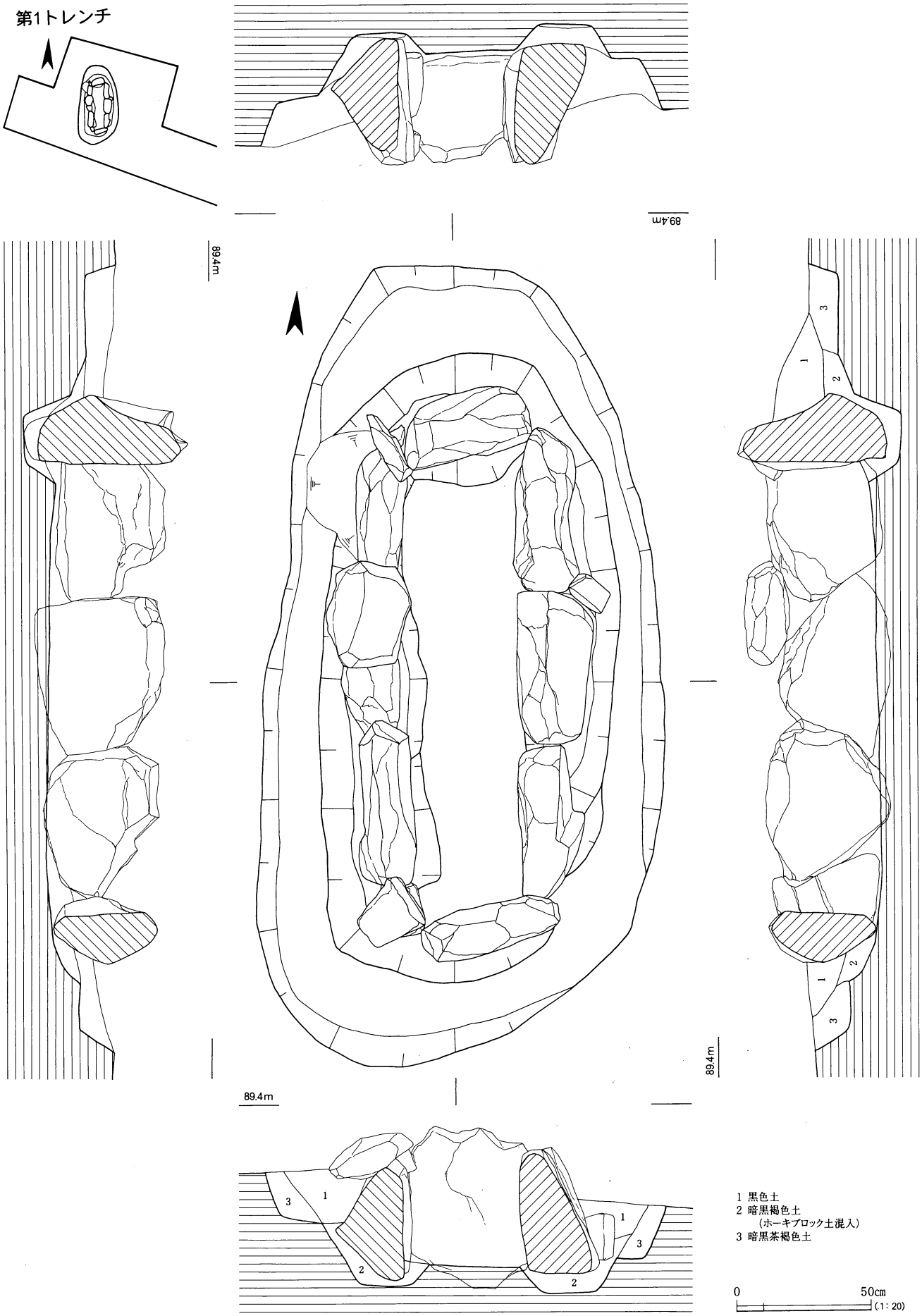
調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に幅２ｍのトレンチを２本設定して実施した。第１トレンチ（長さ13ｍ、拡張部長さ４ｍ）では、表土から20cm掘り下げて箱式石棺墓を１基確認した。第２トレンチ（長さ15ｍ）では遺構はなく、遺物は弥生土器が出土した。

箱式石棺墓は、検出時点で蓋石がすでに失われているなど、石棺全体に大きな撹乱を受けていた。石棺は、40～60cm大の河原石９個で構築され、規模は内法で長さ1.71ｍ・幅0.45ｍ、深さは石材上端より0.31ｍを測る。西側が４個、東側が３個からなる側石を両小口石が挟む形を呈する。棺内も撹乱を受けており、頭位は不明で、副葬品などの遺物は出土しなかった。掘り方は、長楕円形の平面形を呈し、規模は長さ2.94ｍ・幅1.50ｍ、検出面からの深さは0.4ｍ前後を測る。掘り方埋土中から弥生土器が出土した。箱式石棺墓に伴う盛り土や周溝は確認できなかった。

以上の結果、遺跡の存在を確認した。しかし、遺構密度は非常に粗いもので、地山面の削平を伴う場合には事前の発掘調査が必要である。




第1トレンチ
89.4m
89.4m
89.4m
89.4m
1
2
3
1 黒色土
2 暗黒褐色土
（ホーキブロック土混入）
3 暗黒茶褐色土
0
50cm
(1:20)

4　虹ヶ丘町地区（奥小山８号墳）

調査地点　倉吉市虹ヶ丘町244、上余戸字奥小山587-121、大原字郡山1247-1

調査期間　平成９年７月３日～平成９年７月18日

調査契機　主要地方道鳥取鹿野倉吉線緊急地方道路整備事業に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

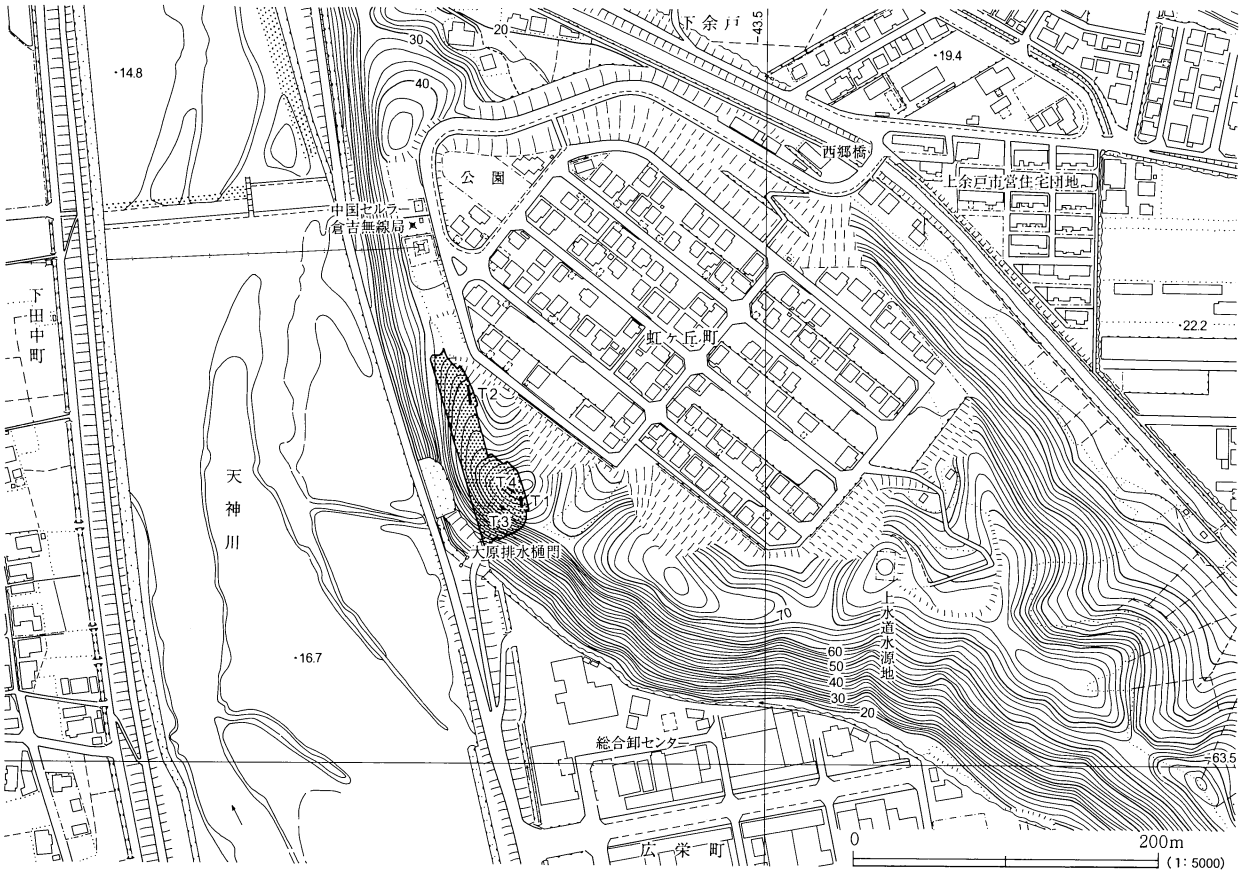
調査面積　45㎡

調査担当　岡平拓也

調査概要　調査は、事業予定地内の現地踏査で認められた古墳状の高まりに２本、その下の平坦部に１本、北西部の尾根上に１本のトレンチを設定して実施した。調査範囲の北東側は、昭和55年度に西郷ニュータウン造成に伴って発掘調査された奥小山古墳群である。

調査の結果、第１・４トレンチから墳丘盛り土である暗黄褐色土とその裾に周溝である暗褐色の落ち込みを検出し、周溝上層から土師器が数点出土した。第２・３トレンチからは遺構・遺物とも検出しなかった。このため第１・４トレンチを含む南東部分については事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2 × 8	16	古墳墳丘	
2	1.5×12	18		
3	1 × 4	4		
4	1 × 7	7	古墳墳丘・周溝	土師器・土師質土器



5　和田地区（大平ラ遺跡・八幡山遺跡・若林遺跡・長谷遺跡）

調査地点　倉吉市和田字大平ラ783•799-1 、黒坂528•749-1•750•754-1•755•767•768-2•768-6 769-1～4•770•771-1•771-2•772•772-1•773-2•774-1•774-2•775-1、西ノ谷743-2•747-1•748-1 寺谷字八幡山606-1•612•616•617-2•620•621•622-1 、竹ヶ谷596-1 、北石坂平591•592 若林586 、上平田816～818•820•821-1•821-2 、長谷131-2•131-4～6•133-1•133-2•133-4 133-8•133-9•134-1•134-3•134-4

調査期間　平成９年11月７日～平成10年１月９日

調査契機　一般国道313号北条倉吉道路（地域高規格道路北条湯原道路）建設工事に伴う予備調査

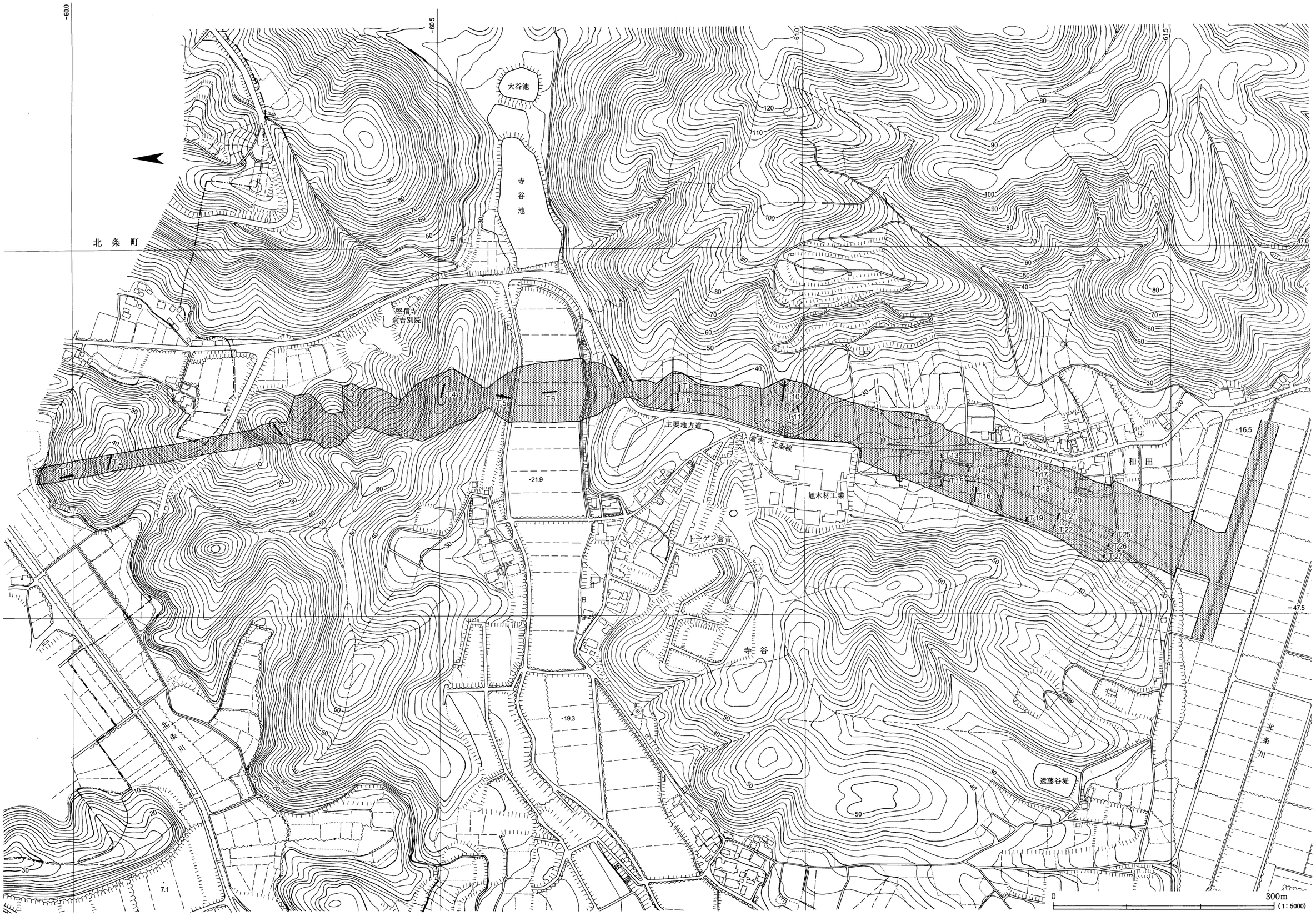
調査方法　トレンチによる発掘調査及びボーリング調査

調査面積　510㎡

調査担当　岡本智則

調査概要　調査は、事業予定地内に27本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第１トレンチで弥生土器が集中して出土しており、丘陵尾根先端部であることから弥生時代の墳丘墓の可能性がある。また第10トレンチでは古墳の周溝を検出し、土師器・須恵器樽形瓶等が出土した。第１・４・５・７～11トレンチの周辺については、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模（m）	面積（㎡）	検出遺構	出土遺物
1	2×20	40	平坦地	弥生土器
2	2×20	40		
3	2×20	40		
4	2×20	40	平坦地	
5	2×20	40	石列	縄文土器・土師器・須恵器
6	2×20	40		縄文土器・弥生土器・土師器・土師質土器・石斧・炭化物・古銭
7	未調査			
8	2×10	20		
9	2×10	20		
10	2×30	60	古墳周溝	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器・陶器・敲石
11	2×10	20		土師器
12	未調査			
13	2× 5	10		
14	2× 5	10		
15	2× 5	10		土師器・須恵器
16	2×20	40		
17	ボーリング			
18	2× 5	10		
19	2× 5	10		
20	ボーリング			
21	2×10	20		弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・甑・竈・手捏土器
22	2× 5	10		縄文土器・土師器・須恵器・土師質土器・竈・炭化物
23	未調査			
24	未調査			
25	2× 5	10		土師器・陶器・磁器
26	2× 5	10		縄文土器・土師器・土師質土器
27	2× 5	10		土師器・須恵器・土師質土器・竈


大谷池
寺谷池
北条町
堅信寺
倉吉別院
主要地方道
倉吉・北条線
旭木材工業
トーゲン倉吉
和田
寺谷
北条川
遠藤谷堤
T.1
T.2
T.3
T.4
T.5
T.6
T.8
T.9
T.10
T.11
T.13
T.14
T.15
T.16
T.17
T.18
T.19
T.20
T.21
T.22
T.25
T.26
T.27
-21.9
-19.3
-16.5
-7.1
-60.0
-60.5
-61.0
-61.5
-47.0
-47.5
0
300m
(1:5000)

塚ヶ峰池
県道倉吉－東伯線
倉吉酪農会館
大沢
大沢神社
大沢堤
T1
T2
T3
T4
T5
T6
T7
T8
T9
T10
T11
T12
T13
T14
T15
T16
T17
T18
T19
T20
JA倉吉市
すいか選果場
市道
国分寺－桜線
倉吉市農協
久米畜産団地
昭和神社
鉞堤
昭和開拓
-62.0
-62.5
-63.0
-51.5
-52.0
0
300m
(1:5000)

6　大沢地区（高峰遺跡・矢内谷峰遺跡）

調査地点　倉吉市国府字大道谷987-194・987-201・1877・1883～1886・1887-1 、高峯988-54～56・988-89 988-91・989-70、高峰2143～45・2147-1・2158・2159-1・2160-1・2160-2・2162-1・2170・2172-3 2175-1～3・2177-1・2177-2・2179-1・2179-2・2183・2191-1・2194・2198、植木場1949・1973-1 1973-2・1976-1

尾原字矢内谷東峰165-1・725-2・726-3・726-5 、矢内谷峰998-1・1006・1009・1019-1・1020・1021 1022-1・1023～1026

下福田字大道谷908-1

調査期間　平成10年４月17日～平成10年４月27日

平成10年12月11日～平成10年12月22日

調査契機　県営久米ケ原地区畑地帯総合整備事業（追加）に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　613㎡

調査担当　加藤誠司・岡本智則・岡平拓也

調査概要　調査は、事業予定地内に20本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第12トレンチで竪穴式住居の柱穴と思われる土壙を３基、第17トレンチで落し穴を１基確認した。他のトレンチでは遺物が出土したものの少量であり、遺構は確認できなかった。このため第12・17トレンチの周辺は、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×15	30		
2	2×10	20		
3	2×15	30		
4	2×21	42		土師質土器
5	2×19	38		弥生土器
	2× 4	8		
6	2×10	20		
7	2×15	30		
8	1.5×10	15		弥生土器
9	2×15	30		
10	2×20	40		
11	2×10	20		弥生土器・土師質土器
12	2×35	70	柱穴	弥生土器・土師器・砥石・敲石
13	2×20	40		
14	2×10	20		縄文土器・土師器
15	2×17	34		
16	2×20	40		
17	2×20	40	落し穴	
18	2× 5	10		
19	2× 5	10		
20	2×13	26		

7　井手畑地区（上通遺跡）

調査地点　倉吉市井手畑字上通(うわどおり)158

調査期間　平成10年４月20日～平成10年４月30日

調査契機　宅地造成工事に伴う予備調査

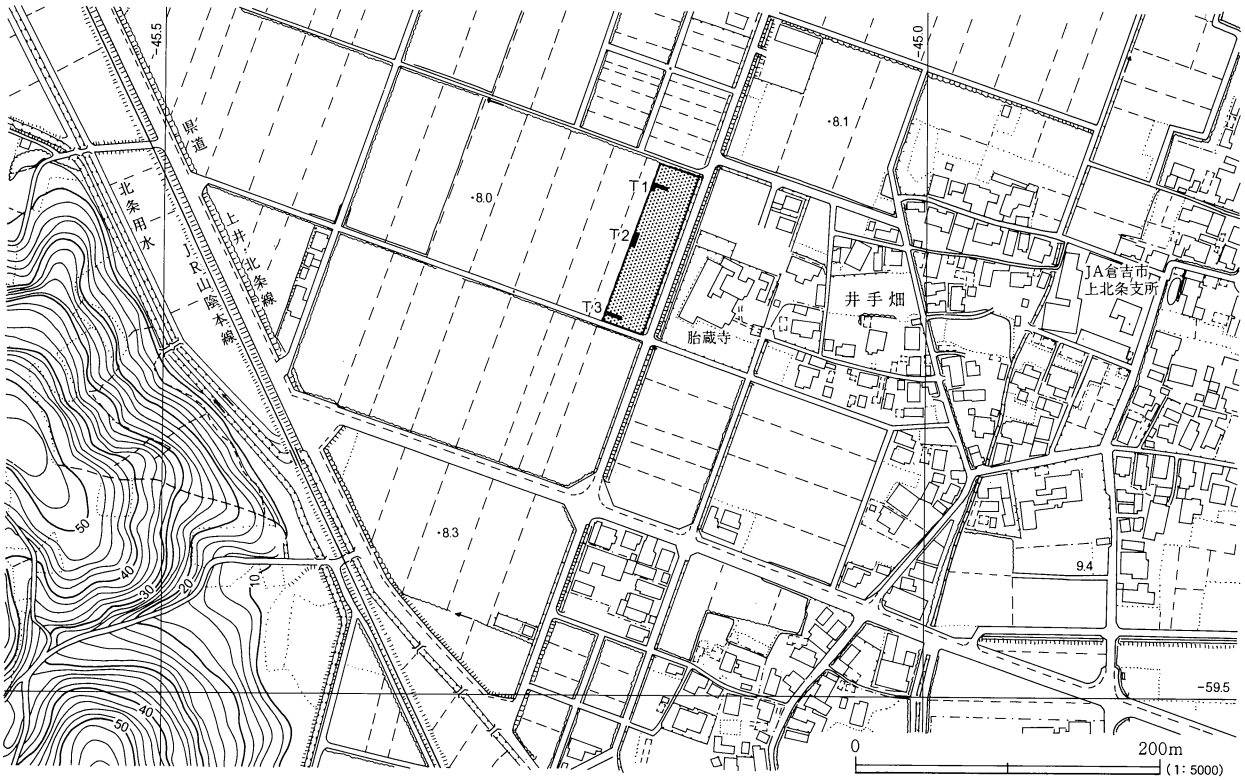
調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　68㎡

調査担当　加藤誠司

調査概要　調査は、事業予定地内に３本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第１トレンチ西側で水路を確認した。水路は、東南東から西北西の方向に延び、現地表面から約0.15ｍ下を検出面とし、圃場整備直前まで使用されていたと推定される。また、水路の約10cm下層から、ほぼ水路と同じ方向に板石と円礫を敷きつめた石敷きと、石敷きの南辺に沿って溝を確認した。この石敷きと溝は一体のものとみられる。第２トレンチでは中世以降と推定される畝状高まりを、第３トレンチでは溝を確認した。また各トレンチから遺物が検出され、古墳時代から近現代に至る遺跡が存在すると判断される。このため現地表面下25cm以下を掘削する場合には、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模（m）	面積（㎡）	検出遺構	出土遺物
1	2×10	20	水路・石敷き・溝	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器・須恵質陶器 陶器・青磁
	2× 4	8	土壙・ピット	磁器・瓦（施釉・燻）・鉄製品・剥片・敲石・炭化物・木片・キセル
2	2×10	20	畝状の高まり	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・竈・瓦質土器 須恵質陶器・陶器・青磁・磁器・瓦・砥石・炭化物
3	2×10	20	溝	土師器・須恵器・土師質土器・竈・瓦質土器・陶器・炭化物



8　大河内地区

調査地点　倉吉市大河内字雨堤(あまづつみ)671-136

調査期間　平成10年４月21日～平成10年４月24日

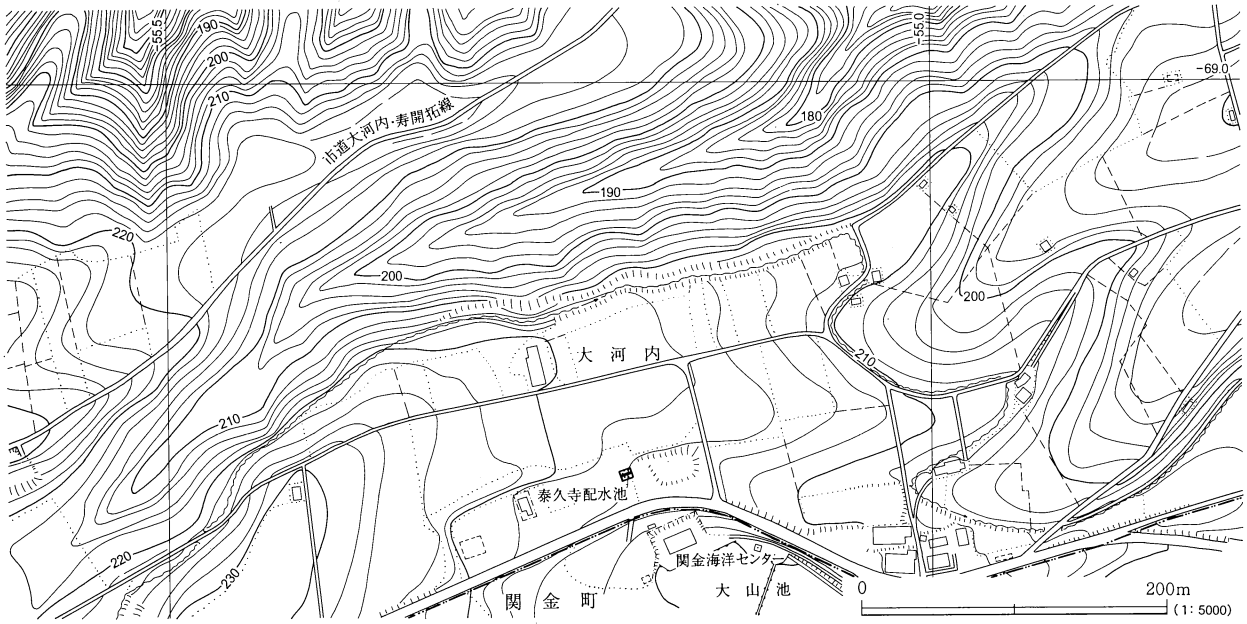
調査契機　中国自然歩道大山池休憩所便所改修工事に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　12㎡

調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に幅２ｍ・長さ６ｍのトレンチを１本設定して実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、遺跡は存在しないと判断される。



9　下田中町・米田町地区（畑ヶ田遺跡）

調査地点　倉吉市下田中町931～941・943・945・946・947-1・947-2・948・950・952-4・952-5・972・973・975 982・983・985～987・990（字東堀(ひがしぼり)・西上手(にしうわて)・中上手(なかうわて)・畑ヶ田(はたがた)）、米田町２丁目53-1・53-2・53-3 54-1・54-2・60-1・60-2・61（字八ヶ坪(はちがつぼ)・土亀田(どうがめだ)・橋井手(はしいで)）

調査期間　平成10年５月11日～平成10年６月18日

調査契機　宅地造成工事に伴う予備調査

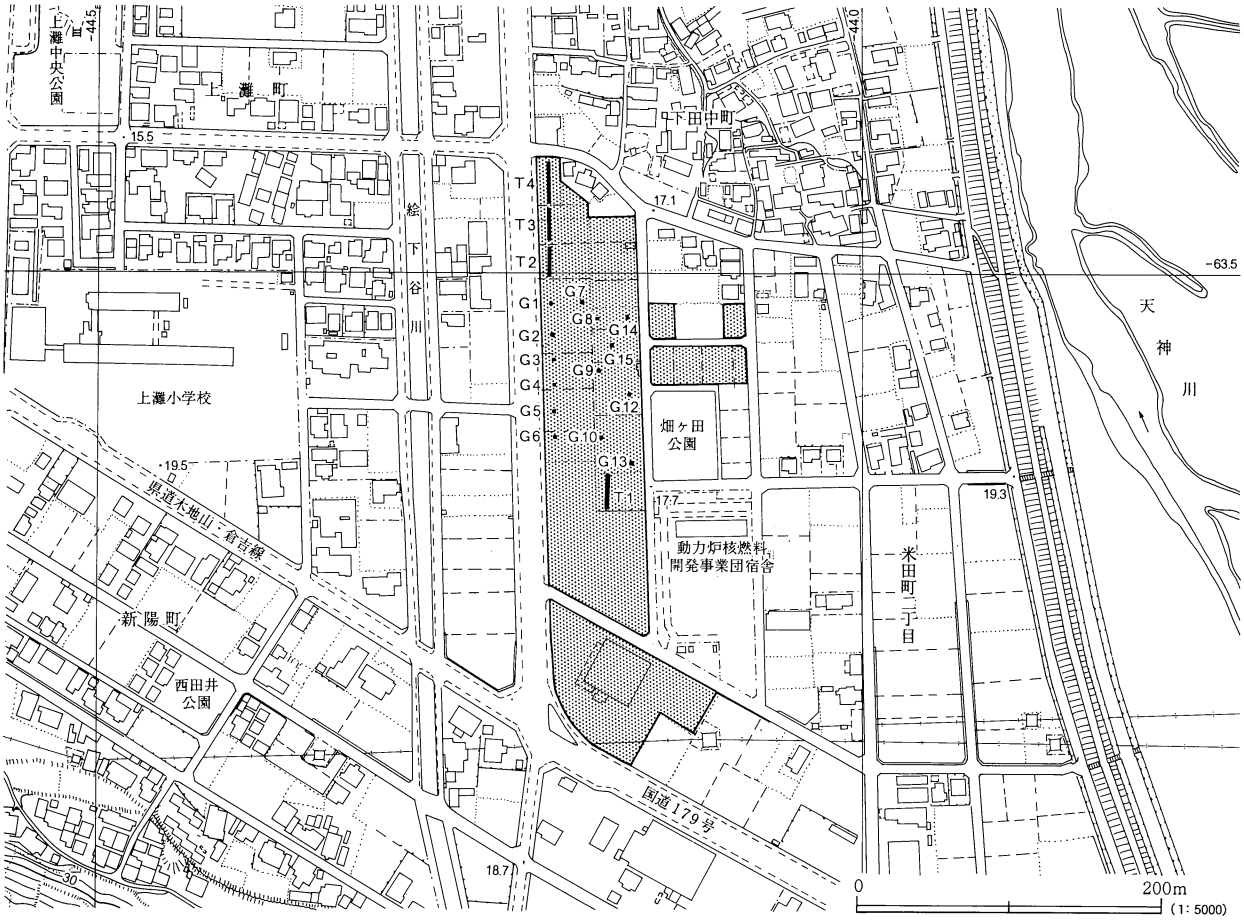
調査方法　トレンチ・グリッドによる発掘調査

調査面積　240㎡

調査担当　岡平拓也

調査概要　調査は、事業予定地内に４本のトレンチと15個のグリッドを設定して実施したが、第11グリッドは湧水のため未調査である。調査の結果、第１トレンチでは標高16.8m（現地表面下70cm）で中世の水田を、その下から奈良時代のものと考えられる東西へ延びる溝（幅75cm・深さ40cm）を確認した。さらにその下からは弥生時代末期の遺物包含層を確認した。第２～４トレンチは、洪水による撹乱がかなり激しいものの、第２トレンチでは中世の水田を、その下から弥生時代末期の遺物包含層を確認した。また各グリッドでは中世～近世の水田を確認した。このため現地表面から70cm以下を削平する場合には、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ グリッド No.	規　模 (m)	面　積 (㎡)	検出遺構	出　土　遺　物
T 1	2×23.5	47	水田・溝	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・土製支脚・瓦質土器 陶器・磁器・古代瓦（燻瓦）・鉄製品・鉄滓・土錘・炭化物
T 2	2×20.5	41	水田・畑	土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器・近代瓦（燻瓦・施釉瓦） 炭化物・おはじき
T 3	2×22	44	水田・畑	土師質土器・須恵質陶器・陶器・磁器・炭化物・古銭・おはじき
T 4	2×27	54	水田・畑	須恵器・陶器・磁器・近代瓦（施釉瓦）
G 1	2× 2	4	水田	須恵器・須恵器転用硯
G 2	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・陶器
G 3	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G 4	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・瓦質土器・須恵質陶器・瓦・土錘
G 5	2× 2	4	水田	土師器・須恵器
G 6	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G 7	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器・把手・甑
G 8	2× 2	4	水田	土師器・須恵器
G 9	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G10	2× 2	4	水田	土師器・把手
G11	未　掘			
G12	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G13	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器
G14	2× 2	4	水田	陶器
G15	1× 2	2	水田	土師器・須恵器



10　西倉吉町地区（空岡田遺跡）

調査地点　倉吉市西倉吉町字屋敷添114-2 、空岡田134-2

調査期間　平成10年７月１日～平成10年７月17日

調査契機　宅地造成工事に伴う予備調査

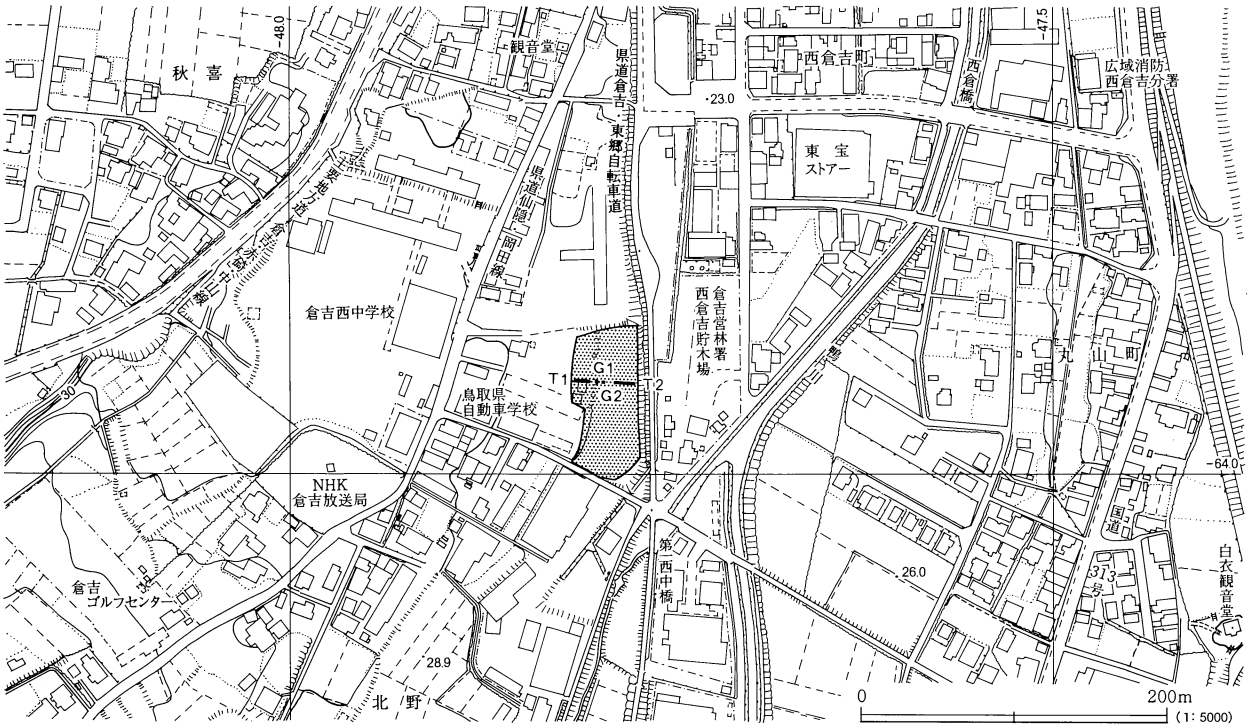
調査方法　トレンチ・グリッドによる発掘調査

調査面積　54㎡

調査担当　岡平拓也

調査概要　調査は、事業予定地に２本のトレンチと２個のグリッドを設定して実施した。調査の結果、西側の一段高い部分から中世の土壙、ピットなどを検出した。断面観察により地山までの黒色土は、中世の土壙を人為的に埋め戻した後に堆積したものであることが確認され、中世の段階でかなり大規模な造成が行われていることになる。調査区は中世城郭である「北の城」の推定地の周辺であり、その関連がうかがわれる。東側の一段低い部分では、造成土の下はほとんどの部分で旧地形を残しており、中世～近世の水田、さらにその下層では縄文時代の遺物を多量に含む落ち込みが確認された。このため現地表面から、西側の一段高い部分は65cm、東側の一段低い部分は50cm以下に削平が及ぶ場合には、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ グリッド No.	規　模 （m）	面　積 （㎡）	検出遺構	出　土　遺　物
Ｔ１	2×11	22	土壙・ピット	縄文土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・瓦質土器 須恵質陶器・陶器・磁器・白磁・青磁・刀子・石錘・炭化物
Ｔ２	2×14	28	水田・落ち込み	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器 須恵質陶器・陶器・磁器・青磁・鉄釘・土錘・安山岩剥片 投弾・石斧・磨石・敲石・炭化物
Ｇ１	1× 2	2		
Ｇ２	1× 2	2		



11　不入岡遺跡

調査地点　倉吉市不入岡字堀(ほり)719-1・721・729・730-1 、荒神畑(こうじんはた)297・302 、奥屋敷(おくやしき)734-1・735-2

調査期間　平成10年７月８日～平成10年８月27日

調査契機　不入岡遺跡範囲確認調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

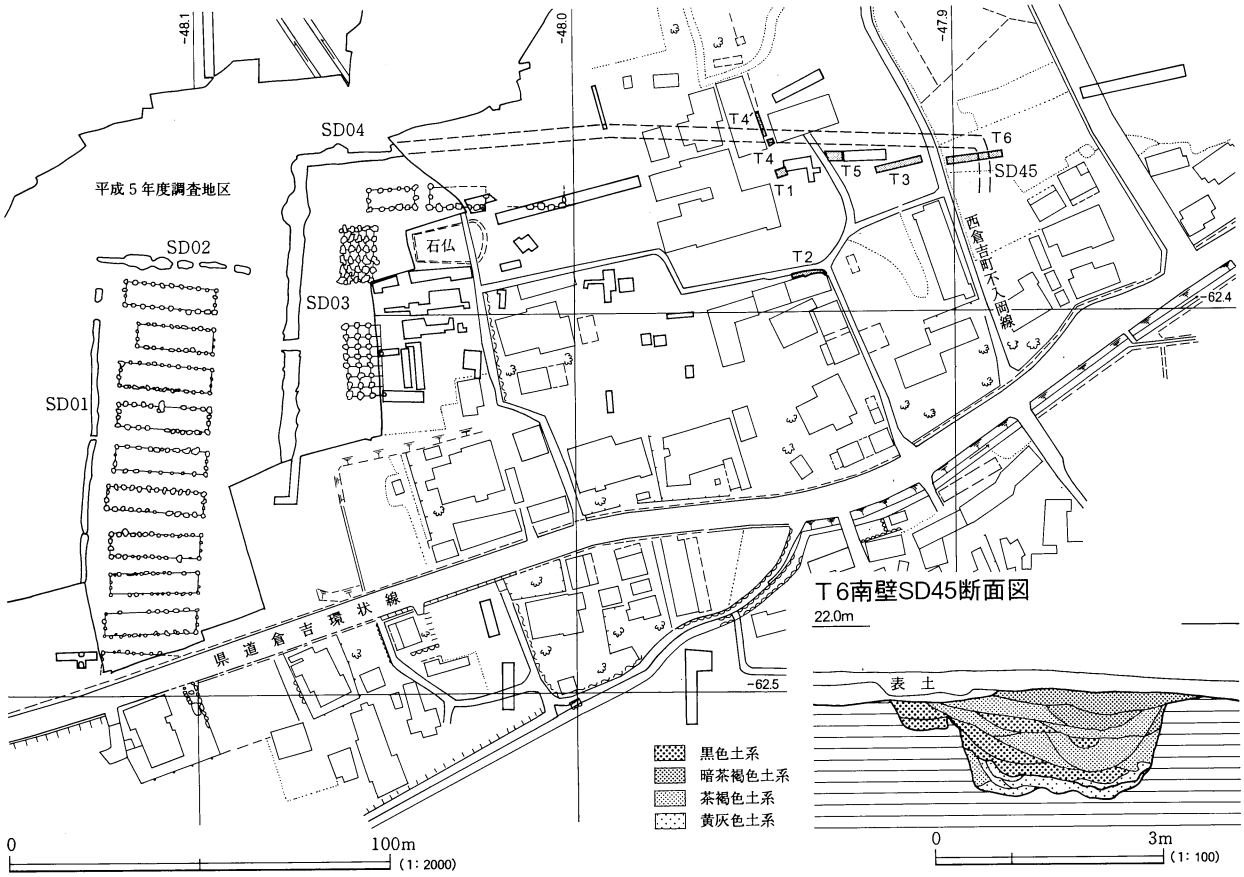
調査面積　87㎡

調査担当　根鈴智津子

調査概要　調査は、不入岡遺跡の東を画する溝を確認するため、６本のトレンチを設定して実施した。第１～３トレンチからは溝は検出されなかった。そこで北を画する溝（ＳＤ04）について平成６年度第６トレンチで一部を確認したのみであったので、東側延長部分に第４トレンチを設定し調査を行ったところ、東西方向に延びる幅3.6mの落ち込みを検出した。位置・方向・幅からみてＳＤ04と判断される。

さらに各トレンチ東西間の空隙をなくすため、平成６年度第12トレンチと第22トレンチの間に第５トレンチを設定したが、遺構は認められなかった。そこで第６トレンチは道路（西倉吉町不入岡線）際から東に、また第４トレンチで検出したＳＤ04の延長ラインより南側に設定した。その結果トレンチ東側で幅2.6m・深さ1.3mの南北溝を確認した。遺物は須恵器・丹塗り土師器（伯耆国庁第２段階）が出土し、位置・方向・形態から見て、東を画する溝（ＳＤ45）と判断される。

不入岡遺跡の規模は、西側溝（ＳＤ03）と今回検出した溝との心々距離で、東西約179m、張出部溝（ＳＤ01）を加えると約231mとなる。



トレンチ No.	規　模 (m)	面　積 (㎡)	検出遺構	出　土　遺　物
1	2× 3	6		弥生土器・土師質土器・陶器
2	0.5× 9	4.5		須恵器・土師質土器
3	2×12	24	土壙	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・須恵質土器・碧玉未製品磨石・敲石
4	2× 2	4	溝（ＳＤ04）	
4′	0.5× 7	3.5	溝（ＳＤ04）	
5	3× 5	15		弥生土器・土師器
6	2×15	30	溝（ＳＤ45）	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器・碧玉未製品敲石

12　鋤地区

調査地点　倉吉市鋤字石仏(いしほとけ)451-27・451-28

調査期間　平成10年８月５日～平成10年８月10日

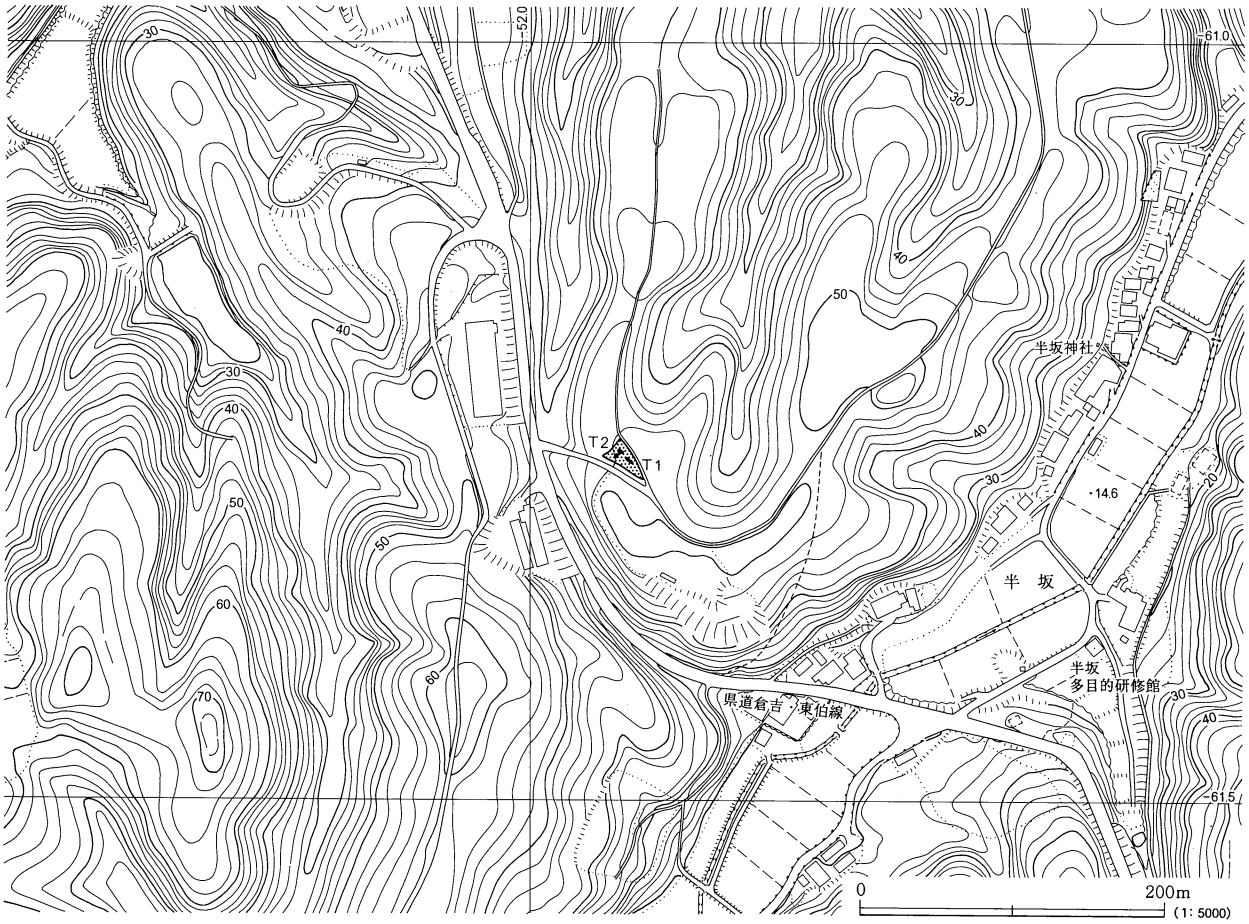
調査契機　自動車・携帯電話局新設工事に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　23㎡

調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に２本のトレンチ（第１トレンチ：幅1.5ｍ・長さ６ｍ、第２トレンチ：幅２ｍ・長さ４ｍ、拡張部幅１ｍ・長さ６ｍ）を設定して実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、遺跡は存在しないと判断される。



13　国府地区

調査地点　倉吉市国府字両長谷(りょうながたに)1259・1260

調査期間　平成10年10月22日～平成10年10月29日

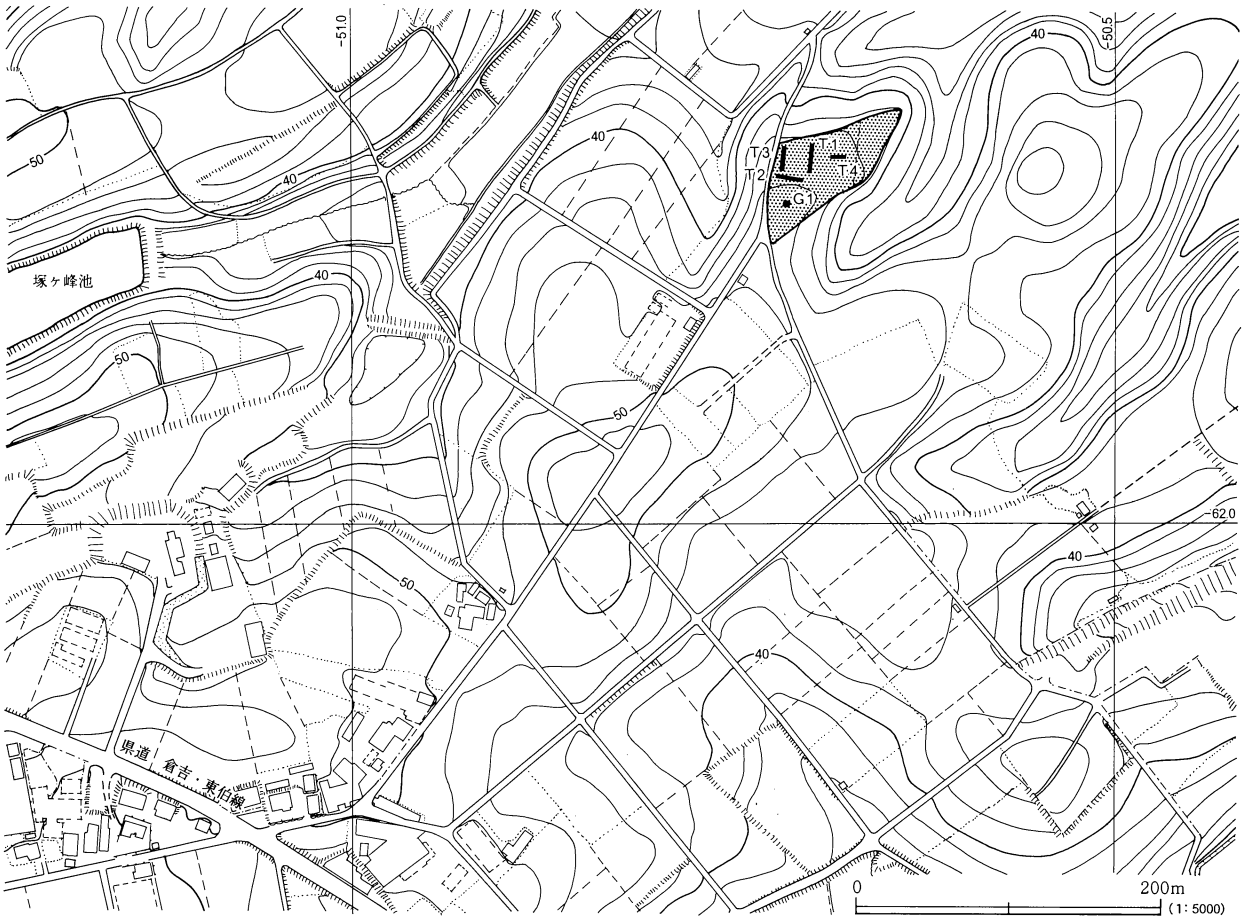
調査契機　産業廃棄物中間処理施設建設に伴う予備調査

調査方法　トレンチ・グリッドによる発掘調査

調査面積　145㎡

調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に幅２ｍのトレンチを４本（第１トレンチ：長さ20m、第２トレンチ：長さ18m、第３トレンチ：長さ16.5m、第４トレンチ：長さ10m）と、グリッドを１個（幅４ｍ・長さ４ｍ）を設定して実施した。調査の結果、全体に畑地造成時の削平が及んでおり、遺構・遺物とも確認できなかった。遺跡は存在しないと判断される。



14　下福田地区

調査地点　倉吉市下福田字金鋳谷(かないだに)725-130・749-45～50

調査期間　平成10年11月18日～平成10年12月14日

調査契機　畜産基盤再編総合整備事業に伴う予備調査

調査方法　トレンチによる発掘調査

調査面積　324㎡

調査担当　森下哲哉

調査概要　調査は、事業予定地内に10本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、全てのトレンチで遺構は確認できず、また少量の土器片と打製石斧・磨石が出土したが、いずれも遺構に伴うものではなかった。このため遺跡は存在しないと判断される。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×15	30		
2	2×20	40		
3	2×16	32		弥生土器
4	2× 4	8		
5	2×20	40		
6	2× 8	16		
	1.2×15	18		
7	2×15	30		弥生土器
8	2×20	40		弥生土器
9	2×22	44		弥生土器・打製石斧・磨石
10	2×13	26		

15　北野地区（八幡平ラ遺跡）

調査地点　倉吉市北野字八幡平（はちまんだいら）ラ670-1

調査期間　平成10年12月16日～平成10年12月18日

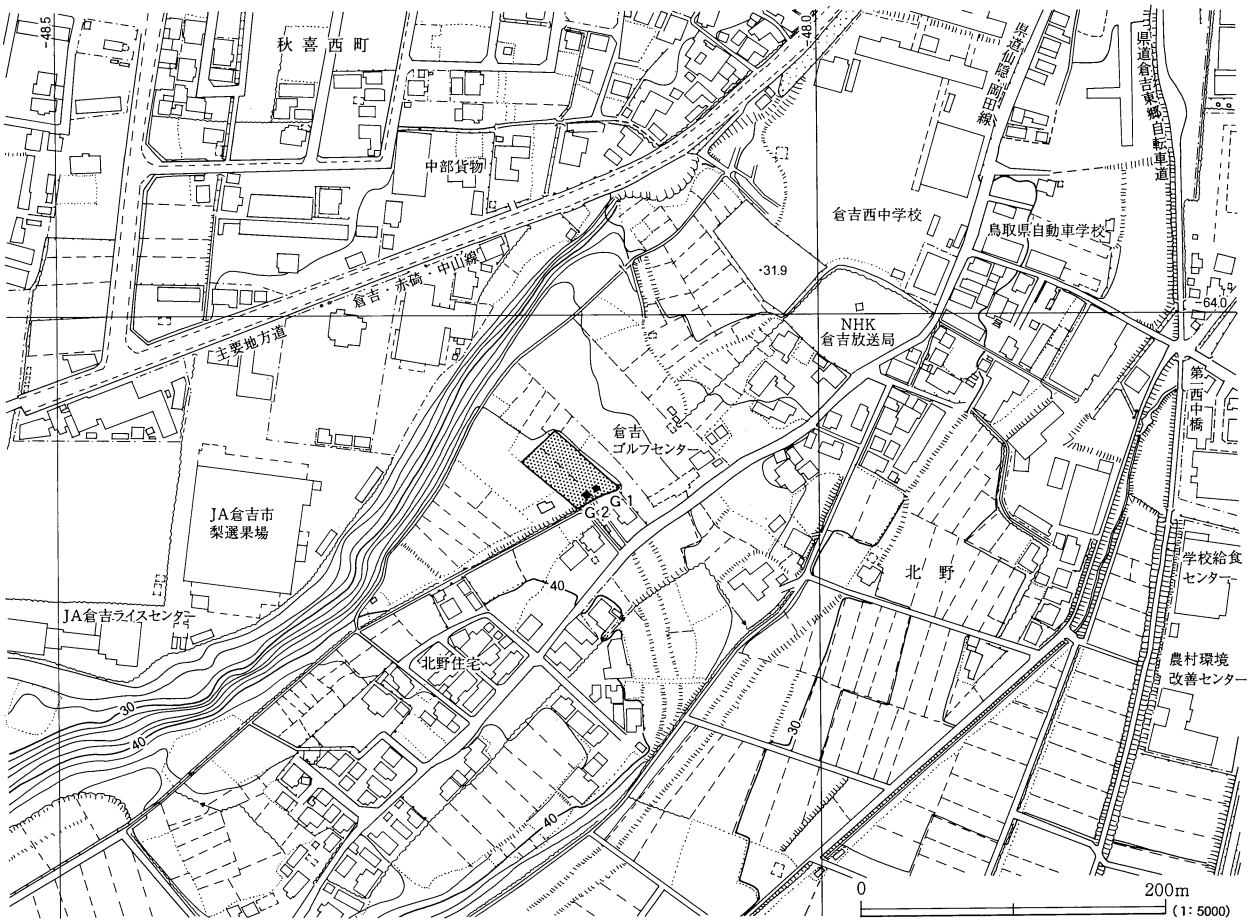
調査契機　携帯電話基地局基礎整備工事に伴う予備調査

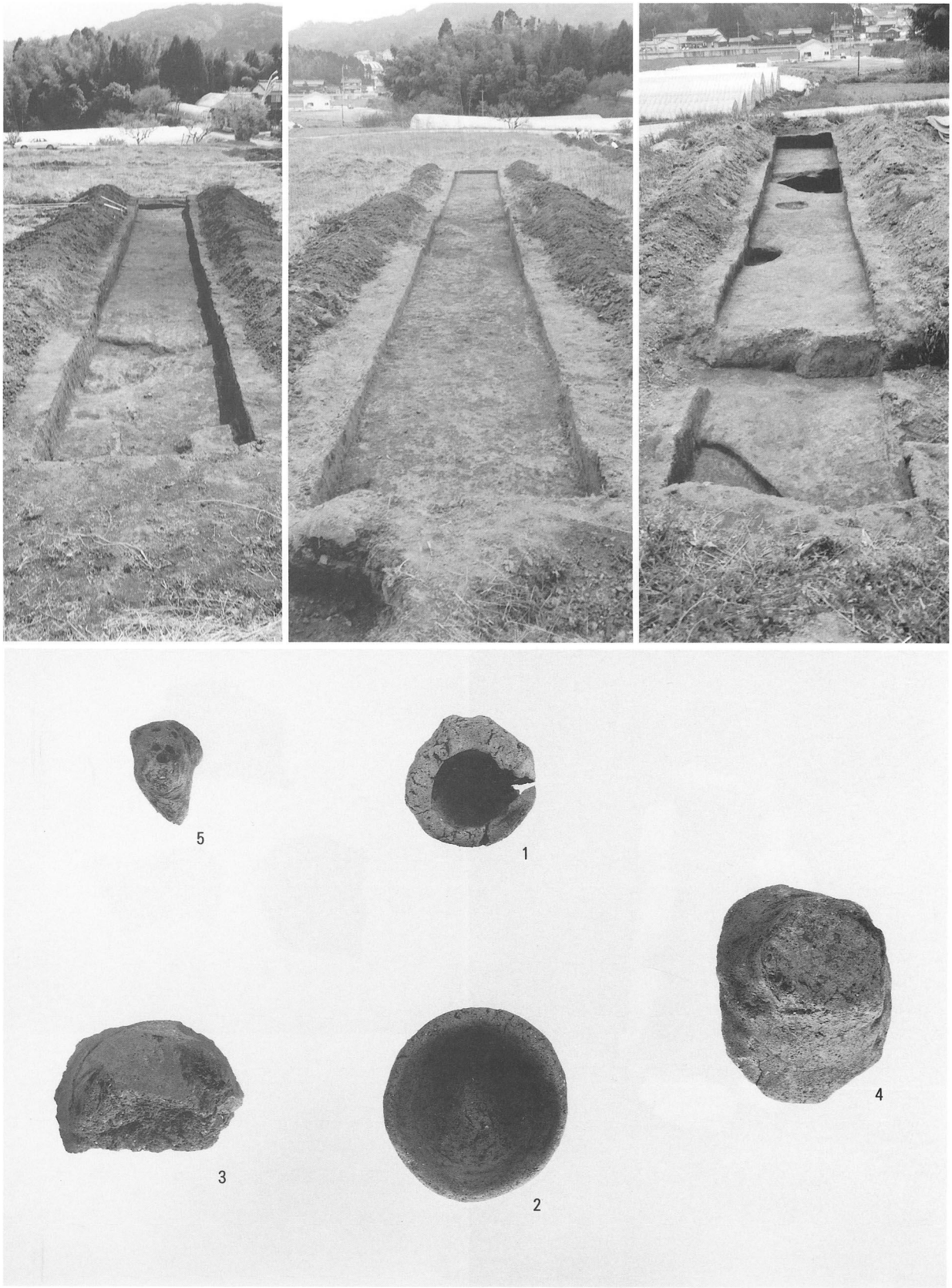
調査方法　グリッドによる発掘調査

調査面積　32㎡

調査担当　森下哲哉

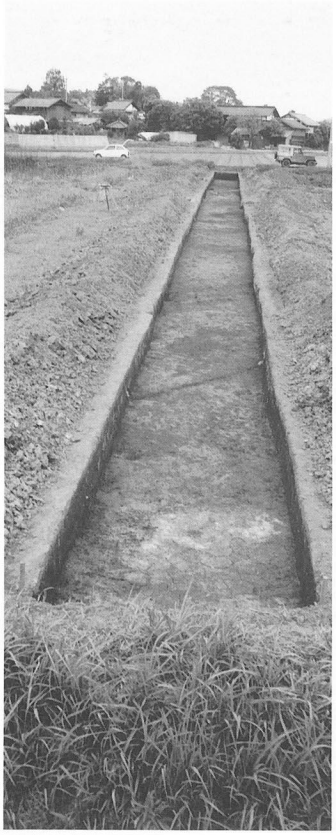
調査概要　調査は、事業予定地内に幅４ｍ・長さ４ｍのグリッドを２個設定して実施した。調査の結果、第１グリッドでは遺構・遺物とも検出しなかった。第２グリッドでは西側で幅50cm・深さ50cmの南北に延びる溝を検出し、溝の中から弥生土器・土師器・砥石が出土した。このため削平等の工事が第２グリッドに及ぶ場合は、事前の発掘調査が必要である。

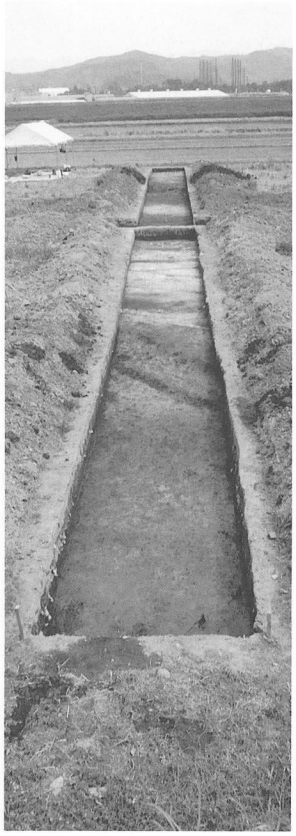


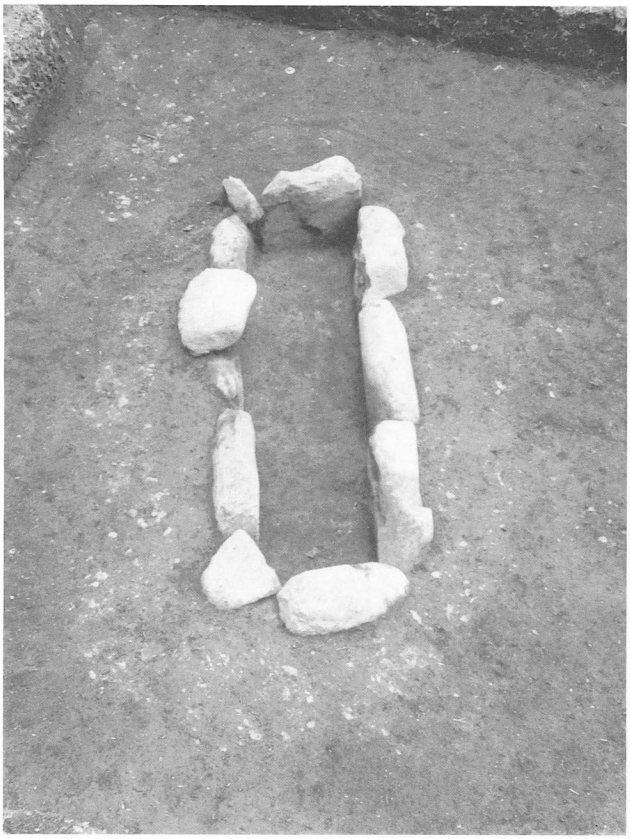


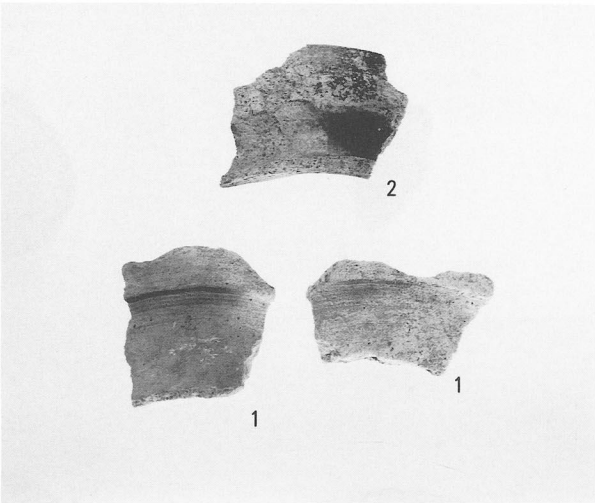
上神地区◁第 1 トレンチ（北東から）△第 2 トレンチ（北東から）▷第 5 トレンチ（北東から）
▽出土遺物 1 ： 2

図版２









国分寺地区◁第１トレンチ（南西から）

△第２トレンチ（北西から）

尾田地区▽第１トレンチ　箱式石棺墓（南から）

国分寺地区△第３トレンチ（北西から）

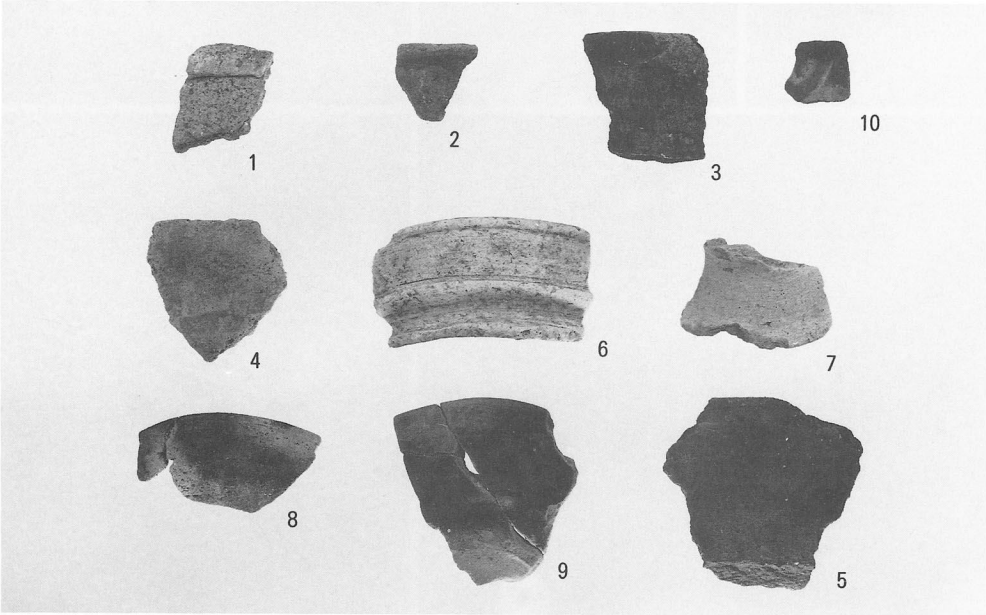
尾田地区▽出土遺物１：３

虹ケ丘町地区◁第１トレンチ（南から）△第２トレンチ（南から）　虹ケ丘町地区△第４トレンチ（北西から）

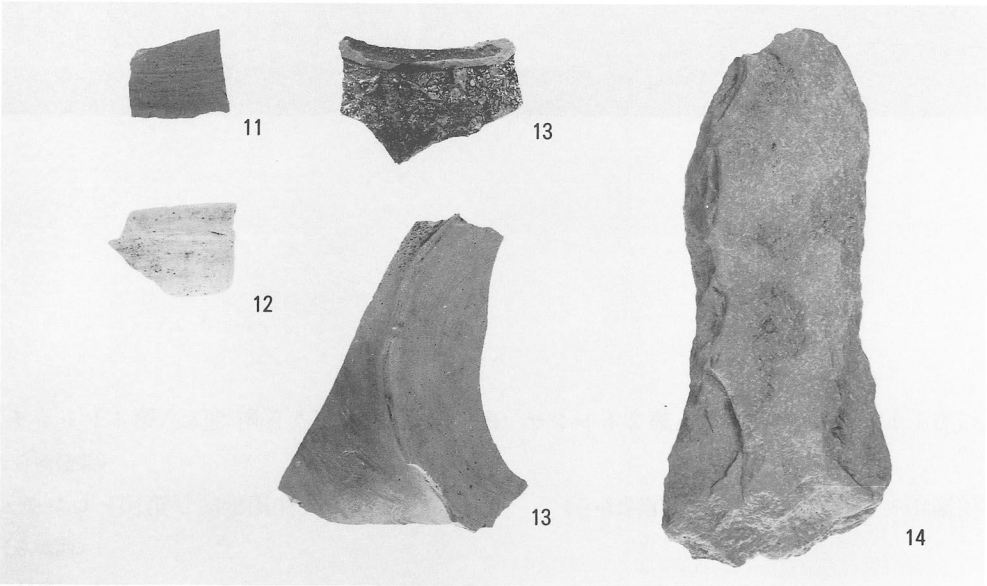
和田地区▽第10トレンチ　古墳周溝（南東から）　和田地区▽第10トレンチ（西から）

図版 4

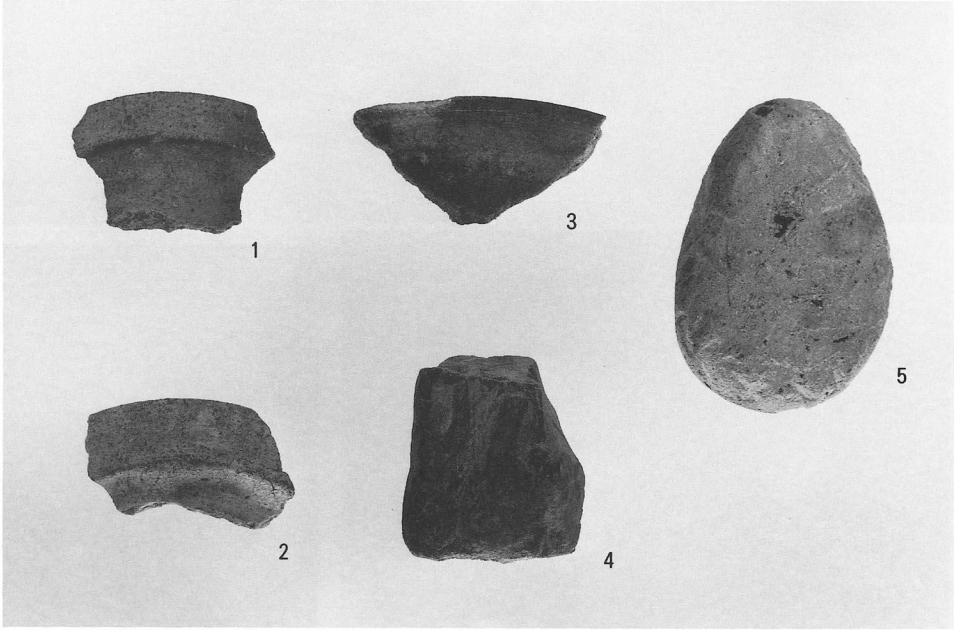
和田地区
第５トレンチ
拡張部
（西から）



出土遺物１：３

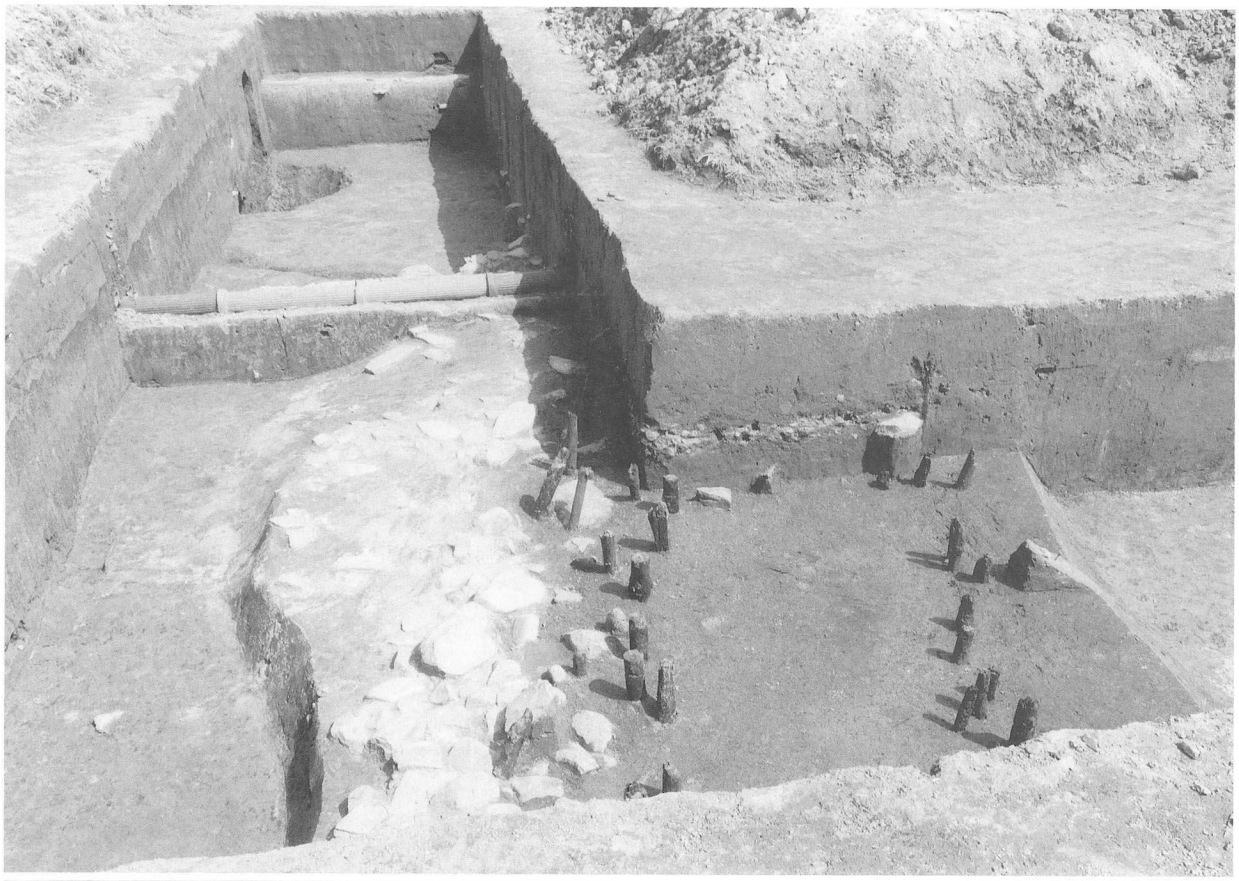


出土遺物１：３



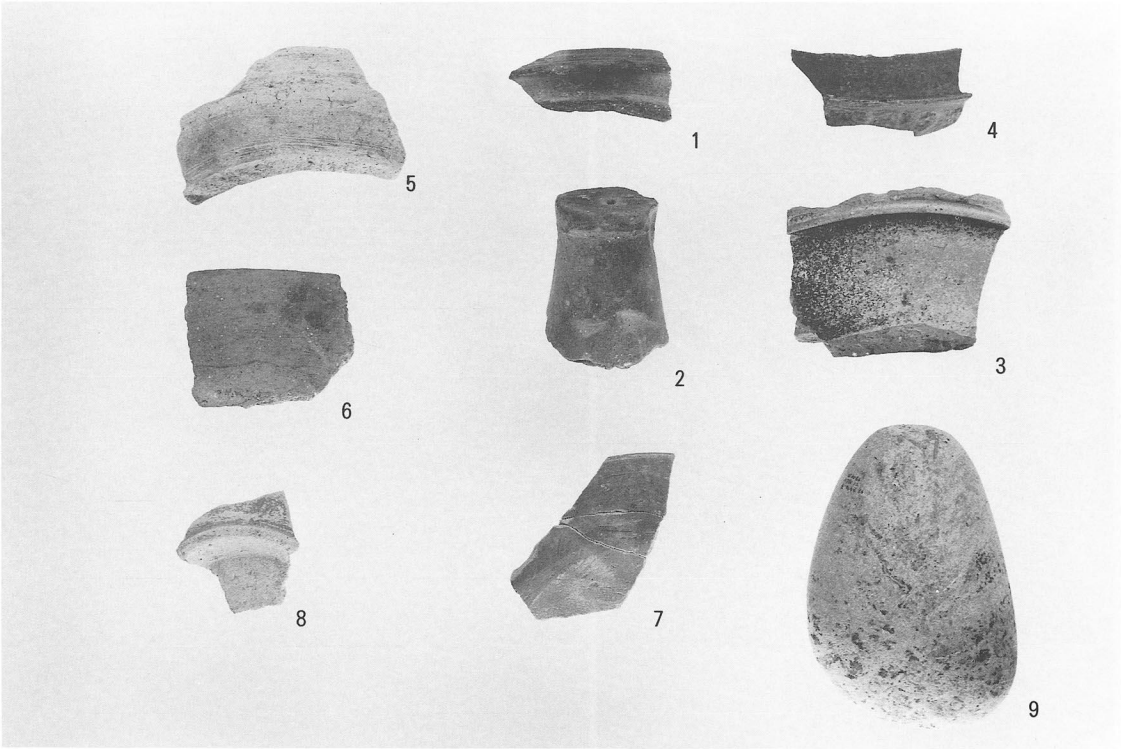
大沢地区◁第12トレンチ　柱穴（南西から）　▷第17トレンチ　落し穴（西から）
▽出土遺物1：3

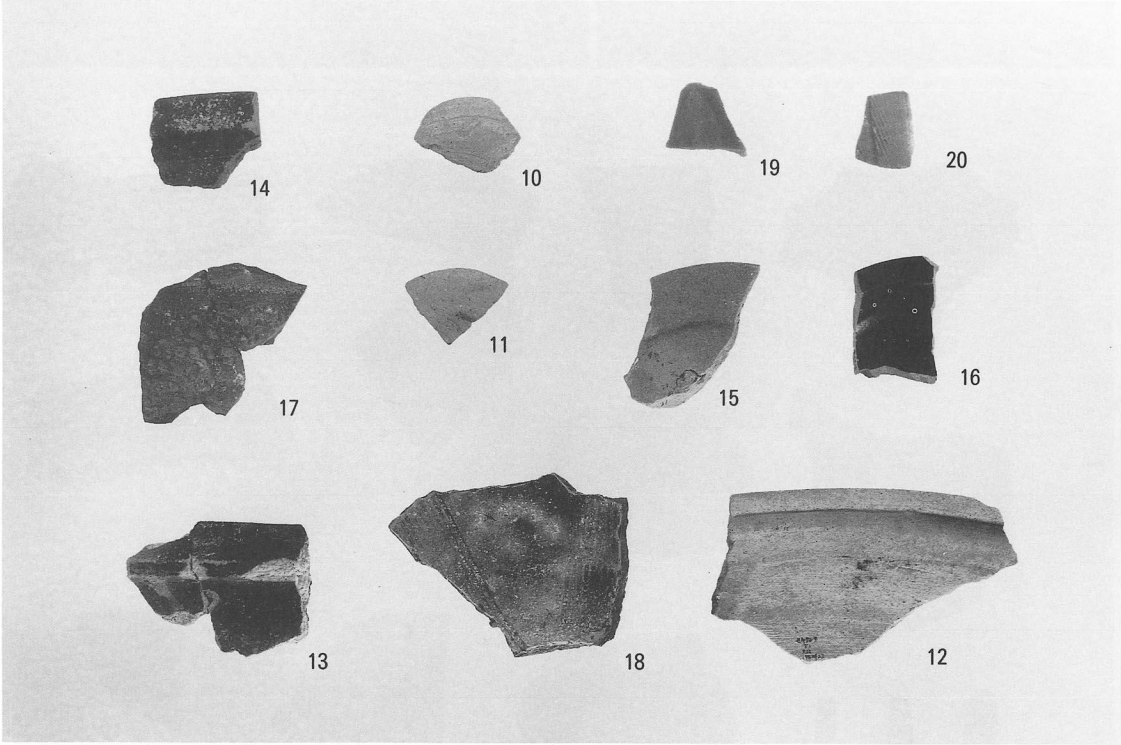
図版 6

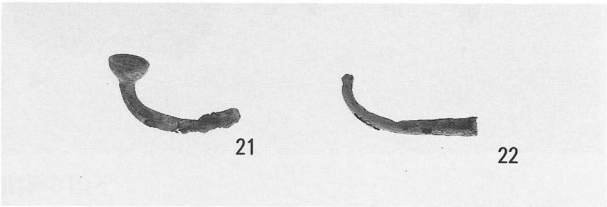


井手畑地区△第１トレンチ（西から）

井手畑地区◁第１トレンチ　土壙（東から）　　大河内地区▷トレンチ（東から）

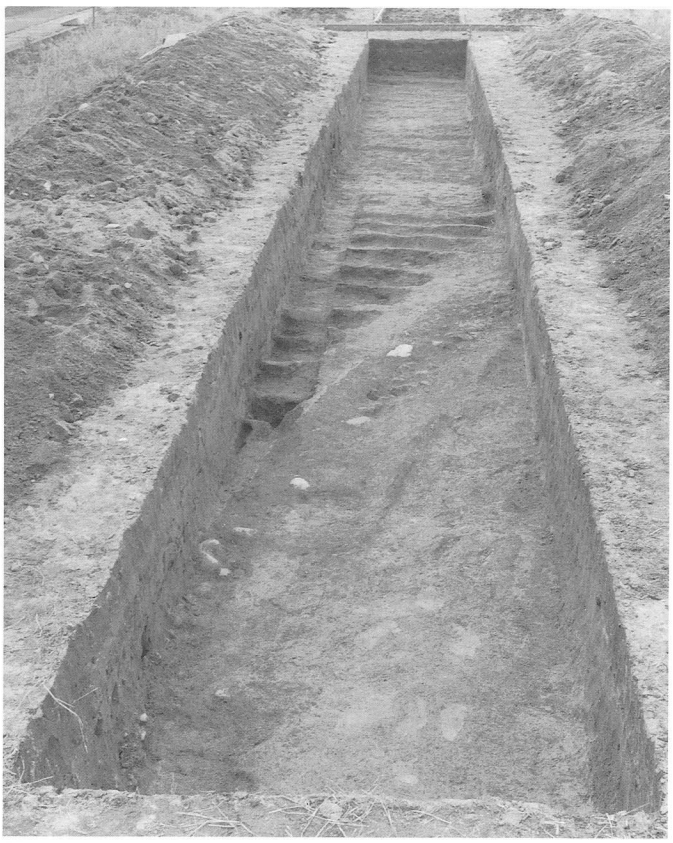


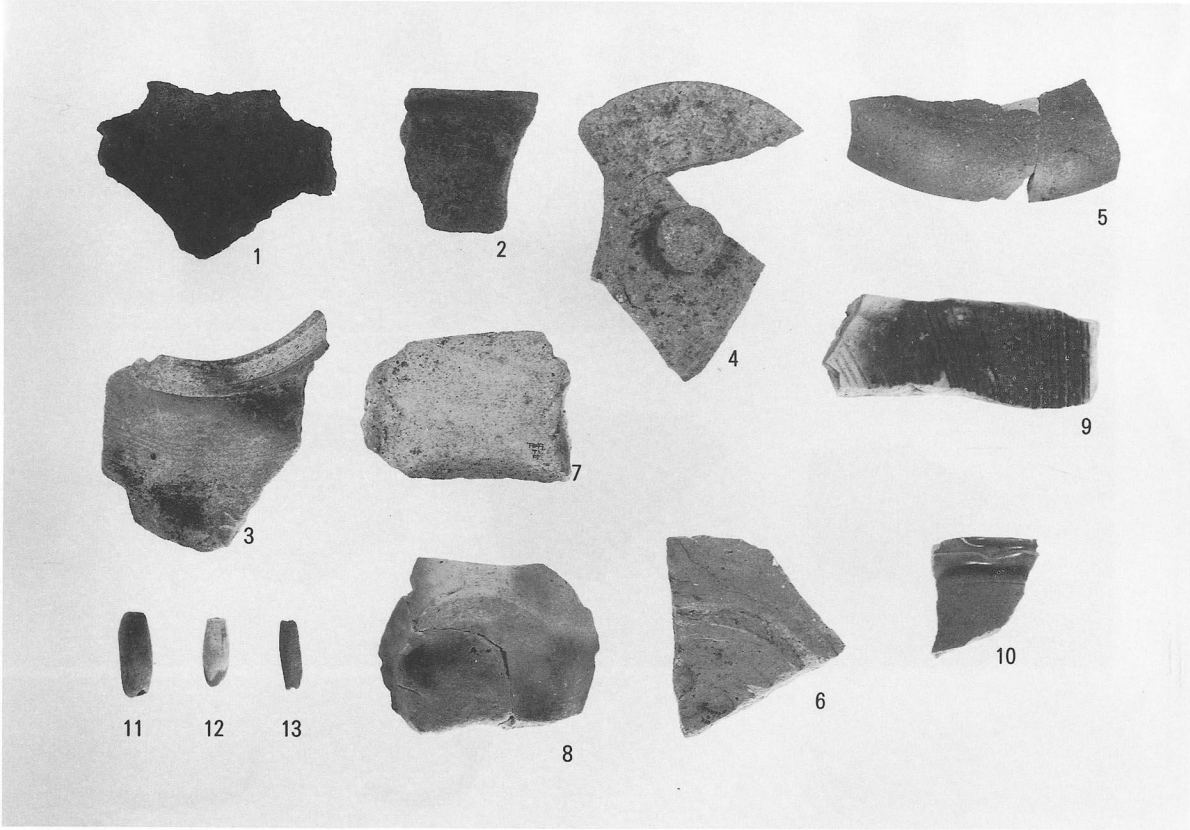




井手畑地区出土遺物１：３

図版８



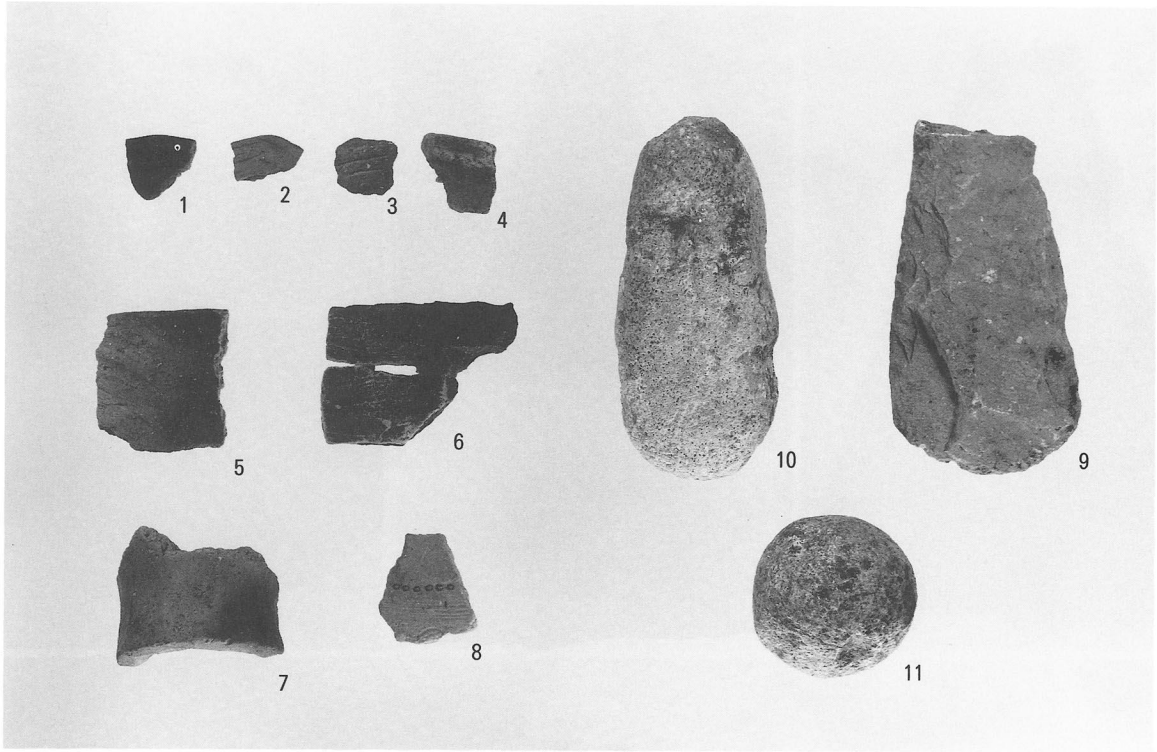


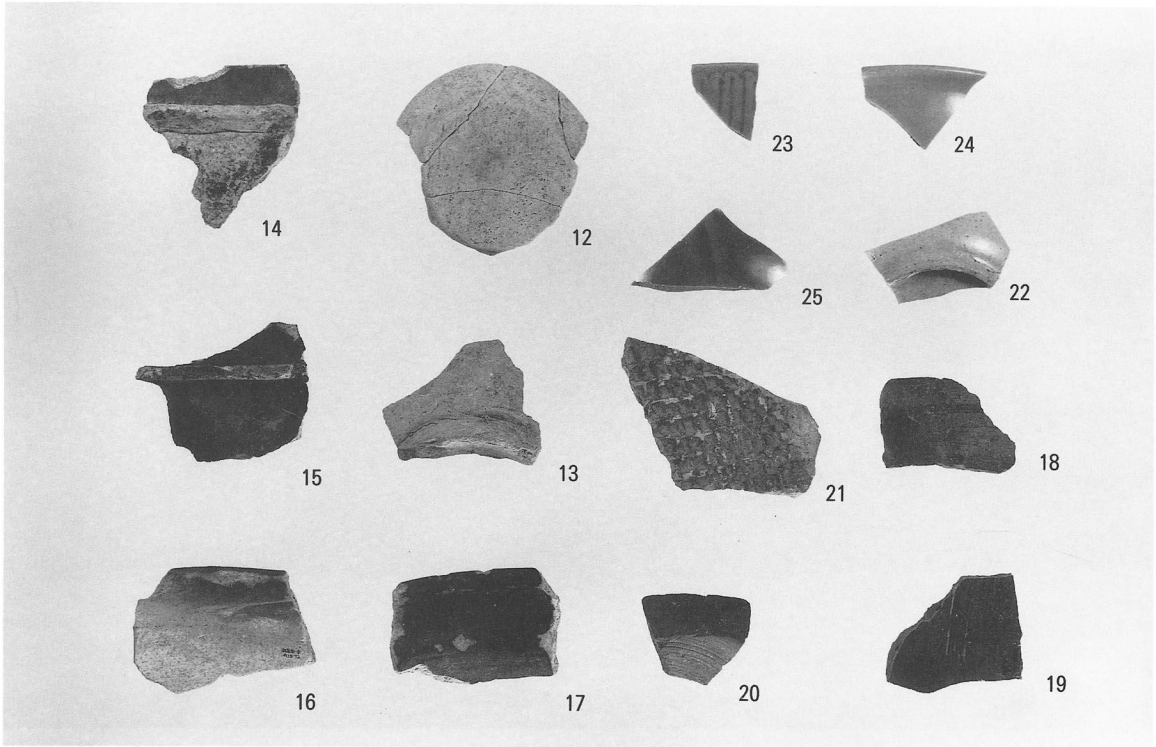
下田中町地区◁第１トレンチ（北から）▷第２トレンチ（南から）

▽出土遺物１：３

西倉吉町地区◁第１トレンチ（西から）△第２トレンチ（東から）▷第２トレンチ南側断面（北西から）
▽第１トレンチ　土壙３（北から）

図版10



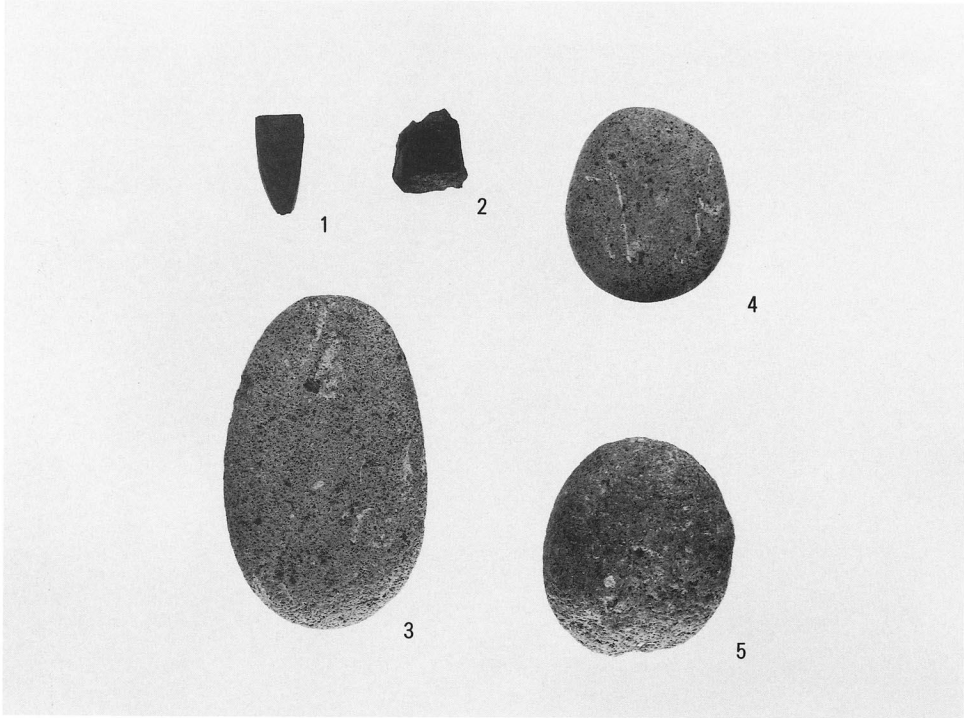


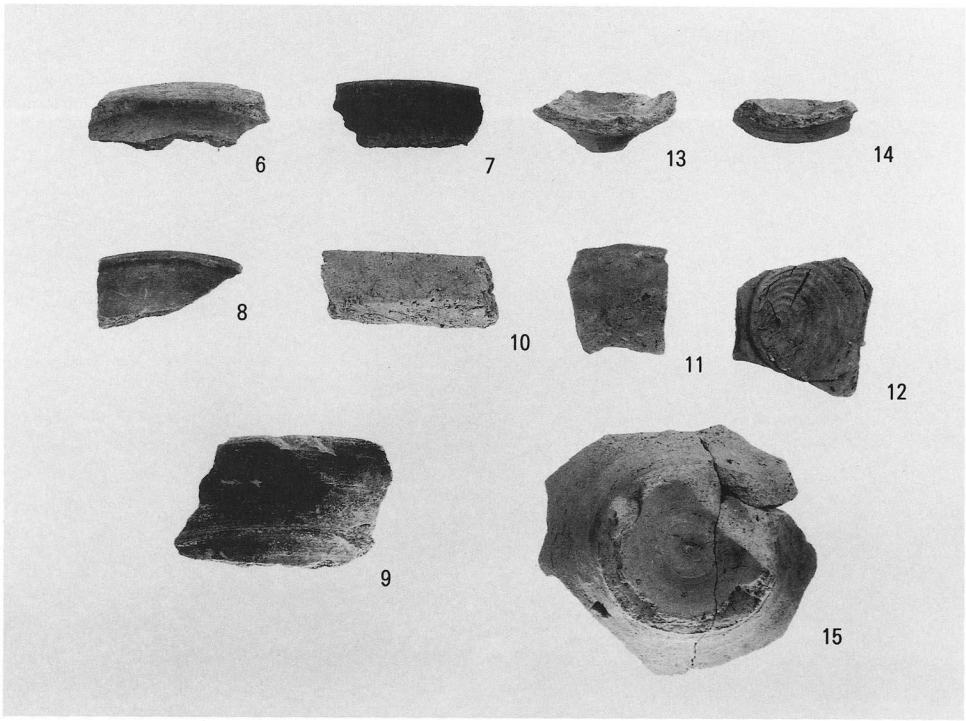
西倉吉町地区出土遺物１：３

不入岡遺跡△第６トレンチ（東から）

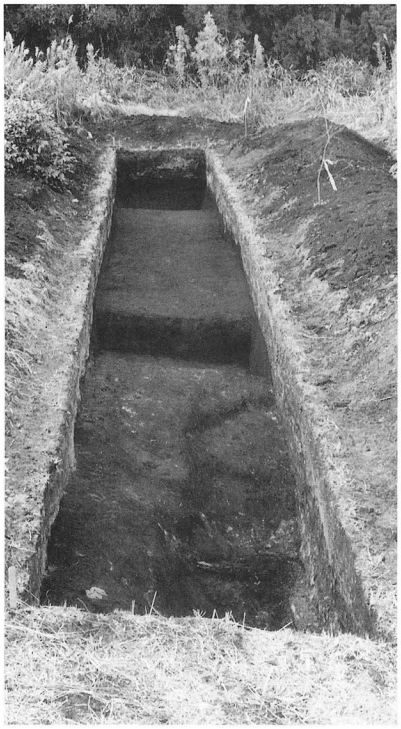
▽第６トレンチ　ＳＤ45（北から）

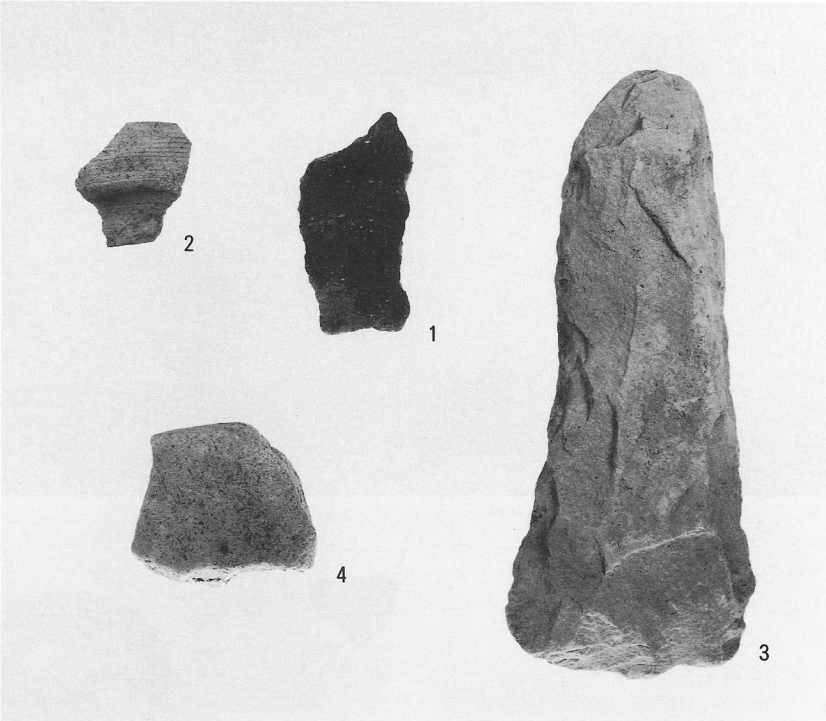
図版12





不入岡遺跡出土遺物１：３





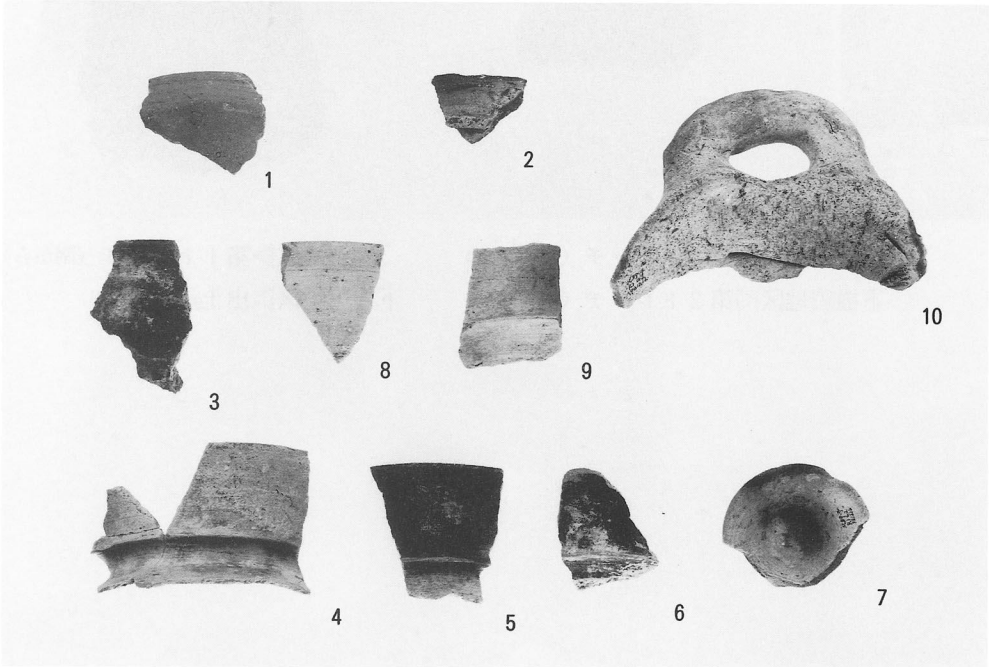
鋤地区◁第２トレンチ（北東から）　国府地区▷第１トレンチ（南から）

下福田地区◁第２トレンチ（南東から）　下福田地区▷出土遺物１：３

図版14

北野地区
第１グリッド
（北東から）

第２グリッド
（北東から）



出土遺物１：３

平成９年度調査

地区名	図版No.	遺物名	出土位置	地区名	図版No.	遺物名	出土位置
上神	1－1	手捏土器　埦	T１南側	和田	4－4	弥生土器　高坏	T10東側
	2	手捏土器　埦	T１		5	土師器　大型壷	T10西側
	3	手捏土器	T４		6	土師器　甕	T21
	4	手捏土器	表採		7	土師器　台付埦	T26
	5	土製動物形（馬形）	T１南側		8	土師質土器　埦	T６
尾田	2－1	弥生土器　壷	T２		9	土師質土器　埦	T６南側
	2	弥生土器　甕	T１箱式石棺墓		10	手捏土器　埦	T21
和田	4－1	縄文土器　深鉢	T６北側		11	須恵器　坏蓋	T21
	2	縄文土器　深鉢	T６北側		12	須恵器　坏身	T21
	3	縄文土器　深鉢	T22		13	須恵器　樽形瓶	T10東側
					14	石斧	T６北側

平成10年度調査

地区名	図版No.	遺物名	出土位置	地区名	図版No.	遺物名	出土位置
大沢	5－1	弥生土器　壷	T11	井手畑	7－10	土師質土器　皿	T３
	2	弥生土器　甕	T８		11	土師質土器　皿	T３
	3	土師質土器　甕	T11		12	土師質土器　鍋	T１東端土壙
	4	砥石	T12		13	瓦質土器　羽釜	T３
	5	磨石	T12		14	陶器　壷	T１
井手畑	7－1	弥生土器　甕	T２		15	陶器　皿	T１
	2	土師器　高坏	T１東側土壙		16	陶器　皿	T１
	3	須恵器　甕	T１		17	須恵質陶器　甕	T２
	4	須恵器　坏身	T２		18	備前焼　擂鉢	T３
	5	土師器　甕	T２		19	青磁　碗	T２
	6	土師質土器　甕	T１		20	青磁　碗	T１
	7	土師質土器　坏	T１		21	キセル	T１
	8	土師質土器　高台付坏	T１		22	キセル	T１
	9	磨石	T１排土中				

地区名	図版No.	遺物名	出土位置
下田中町	8－1	縄文土器　浅鉢	T1サブトレンチ
	2	弥生土器　甕	T1サブトレンチ
	3	土師器　甕	T1
	4	須恵器　坏蓋	G12
	5	須恵器　坏蓋	G13
	6	須恵器 高台付坏(転用硯)	G1
	7	土師質土器　甕	T1サブトレンチ
	8	土師質土器　坏	T2
	9	瓦質土器　擂鉢	T1
	10	陶器	T3
	11	土錘	G4
	12	土錘	T1
	13	土錘	G4
西倉吉町	10－1	縄文土器　深鉢	T2サブトレンチ
	2	縄文土器　深鉢	T2サブトレンチ
	3	縄文土器　深鉢	T2サブトレンチ
	4	縄文土器　深鉢	T2サブトレンチ
	5	縄文土器　深鉢	T2サブトレンチ
	6	縄文土器　深鉢	T2サブトレンチ
	7	弥生土器　壷	T2サブトレンチ
	8	弥生土器　壷	T2
	9	石斧	T2
	10	敲石	T2
	11	投弾	T2サブトレンチ
	12	土師質土器　皿	T1
	13	土師質土器　高台付坏	T2
	14	瓦質土器　釜	T2
	15	瓦質土器　釜	T2
	16	瓦質土器　鍋	T2
	17	瓦質土器　鍋	T2
	18	備前焼　擂鉢	T1
	19	備前焼　擂鉢	T1土壙3
	20	須恵質陶器　壷	T2
	21	須恵質陶器　甕	T2

地区名	図版No.	遺物名	出土位置
西倉吉町	10－22	陶器	T1土壙1
	23	青磁　碗	T1
	24	青磁　碗	T2西側
	25	青磁　碗	T2
不入岡遺跡	12－1	碧玉製形割未製品	T3東側
	2	碧玉製形割未製品	T6東側
	3	磨石	T3P2
	4	磨石	T3東側
	5	敲石	T6溝（SD45）
	6	弥生土器　甕	T6溝（SD45）
	7	弥生土器　甕	T6東側
	8	弥生土器　甕	T6溝（SD45）
	9	土師器　甕	T3P1
	10	土師質土器　甕	T5
	11	土師質土器　坏	T6溝（SD45）
	12	土師質土器　坏	T6東側
	13	土師質土器　高台付坏	T6溝（SD45）
	14	土師質土器　高台付坏	T6溝（SD45）
	15	土師質土器　高台付坏	T6東側
下福田	13－1	縄文土器　深鉢	T10
	2	弥生土器　甕	T9
	3	石斧	T9
	4	磨石	T9
北野	14－1	弥生土器　鼓形器台	G2
	2	弥生土器　鼓形器台	G2
	3	土師器　甕	G2
	4	土師器　甕	G2
	5	土師器　甕	G2
	6	土師器　甕	G2
	7	土師器　低脚坏	G2
	8	土師器　鼓形器台	G2
	9	土師器　鼓形器台	G2
	10	土師器　　把手	G2

報告書抄録

書　　名	倉吉市内遺跡分布調査報告書
副　書　名	――――――
巻　　次	X
シリーズ名	倉吉市文化財調査報告書
シリーズ番号	第97集
編著者名	森下哲哉・根鈴智津子・加藤誠司・岡本智則・岡平拓也
編集機関	倉吉市教育委員会
所　在　地	〒682－8611　鳥取県倉吉市葵町722番地　ＴＥＬ0858－22－4419
発行年月日	西暦1999年３月19日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村：遺跡記号	北緯	東経	調査期間	調査面積（㎡）	調査原因
上神宮ノ前遺跡	倉吉市上神字宮ノ前	31203：４ＹＫＭ	35° 27′ 31″	133° 47′ 28″	19970416～19970506	384	倉吉市における各種開発事業に伴う事前の分布調査
河原毛田遺跡	倉吉市国分寺字河原毛田	31203：６ＷＫＫ	35° 25′ 37″	133° 47′ 36″	19970507～19970523	324.5	
尾田中峰遺跡	倉吉市尾田字中峰	31203：４ＥＯＮ	35° 23′ 37″	133° 46′ 7″	19970526～19970605	64	
奥小山８号墳	倉吉市虹ケ丘町、上余戸字奥小山、大原字郡山	31203：４ＡＫＯ	35° 25′ 42″	133° 51′ 7″	19970703～19970718	45	
大平ラ遺跡	倉吉市和田字大平ラ	31203：	35° 26′ 57″	133° 48′ 48″	19971107～19980109	510	
八幡山遺跡	倉吉市寺谷字八幡山	31203：	35° 27′ 29″	133° 48′ 43″			
若林遺跡	倉吉市寺谷字若林、北石坂平	31203：	35° 27′ 10″	133° 48′ 47″			
長谷遺跡	倉吉市寺谷字長谷	31203：	35° 27′ 3″	133° 48′ 48″			
高峰遺跡	倉吉市国府字高峰、高峯	31203：	35° 26′ 14″	133° 45′ 55″	19980417～19980427 19981211～19981222	613	
矢内谷峰遺跡	倉吉市尾原字矢内谷峰	31203：	35° 26′ 27″	133° 45′ 56″			
上通遺跡	倉吉市井手畑字上通	31203：	35° 27′ 55″	133° 50′ 9″	19980420～19980430	68	
畑ケ田遺跡	倉吉市下田中町字東堀・西上手・中上手・畑ケ田、米田町字八ケ坪・土亀田・橋出手	31203：	35° 25′ 34″	133° 50′ 48″	19980511～19980618	240	
空岡田遺跡	倉吉市西倉吉町字屋敷添、空岡田	31203：	35° 25′ 21″	133° 48′ 24″	19980701～19980717	54	
不入岡遺跡	倉吉市不入岡字堀、荒神畑、奥屋敷	31203：６ＷＦＦ	35° 26′ 12″	133° 48′ 26″	19980708～19980827	87	
八幡平ラ遺跡	倉吉市北野字八幡平ラ	31203：	35° 25′ 16″	133° 48′ 11″	19981216～19981218	32	

210.2
Kur
(97)
図書館

所収遺跡名	種　類	主な時代：主な遺構	主　な　遺　物	特　記　事　項
上神宮ノ前遺跡	祭祀・集落	弥生　：貯蔵穴　1基 古墳　：祭祀遺構	弥生土器・土師器・手捏土器 土製動物形・竈	古墳時代の祭祀遺跡。
河原毛田遺跡	官衙関連	奈良～平安：溝　5条	土師器・須恵器・瓦	平行する2条の溝。
尾田中峰遺跡	墳墓	弥生　：箱式石棺墓1基	弥生土器	
奥小山8号墳	古墳	古墳　：古墳　1基	土師器	昭和55年度調査の奥小山古墳群に連なる古墳。
大平ラ遺跡	古墳	古墳　：古墳　1基	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器・陶器・敲石	墳丘の削平された古墳。
八幡山遺跡	墳墓	弥生　：平坦地	弥生土器	弥生時代後期の墳墓の可能性。
若林遺跡	古墳	古墳　：石列	縄文土器・土師器・須恵器	横穴式石室を主体とする古墳群。
長谷遺跡	古墳	古墳		古墳群内に位置する。
高峰遺跡	集落	弥生～古墳：ピット　5基	弥生土器・土師器・敲石	弥生時代後期から古墳時代に至る集落。
矢内谷峰遺跡	生活址	縄文　：落し穴　1基		縄文時代の生活址。
上通遺跡		中世　：土壙　1基 溝　1条 近現代　：水路　1基 石敷き　1基	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・竈・瓦質土器・陶器・磁器・瓦・鉄製品・玉髄・剥片・炭化物・木片	水田に関連する遺跡。
畑ケ田遺跡	畑・水田跡	奈良　：溝 中世～近世：畑 水田	弥生土器・土師器・須恵器・瓦質土器・陶器・寛永通宝	中世～近世の畑・水田跡。
空岡田遺跡	集落・水田跡	中世～近世：土壙 水田	縄文土器・土師質土器・須恵質土器・青磁・陶器・磁器・石器	丘陵縁辺部が中近世に造成される。城館関連遺跡か？
不入岡遺跡	官衙	奈良～平安：溝	弥生土器・土師器・丹塗り土師器 須恵器・碧玉未製品	東を画する溝を検出。
八幡平ラ遺跡	集落関連	古墳　：溝　1条	土師器	直線的な溝。

倉吉市内遺跡分布調査報告書Ⅹ

平成11年３月19日　印刷
平成11年３月19日　発行

編集
発行　倉吉市教育委員会

印刷
製本　優成印刷㈲